

令和6年度

教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

伊那市教育委員会

## 教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価について

- 伊那市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価（以下「点検・評価」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき実施するものです。

（参 考）

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（関係条文抜粋）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

- 点検・評価は、令和5年度伊那市教育委員会重点施策の達成状況を対象とします。
- 上記重点施策に関連する事務事業は、2～3ページの一覧表のとおりです。
- 自己評価については、概ね次の基準によります。

| 評価 | 内 容             |
|----|-----------------|
| A  | 期待を上回る成果が上がっている |
| B  | 期待どおりの成果が上がっている |
| C  | 改善する必要がある       |
| D  | 抜本的な見直しの必要がある   |

- 「教育委員会評価委員」による点検・評価についての意見は、最終ページに記載しています。

# 令和5年度伊那市教育委員会重点施策に関連する事務事業一覧

| No.                | 重点施策                     | 事務事業名            | 評 価 | 備 考    |
|--------------------|--------------------------|------------------|-----|--------|
| 第1節 地域への愛着と誇りを育む教育 |                          |                  |     |        |
| 1－1： 学校教育          |                          |                  |     |        |
| 1                  | 学校教育の充実<br>学校・家庭・地域の連携強化 | 総合的な学習           | B   | 学校教育課  |
| 2                  |                          | キャリア教育の推進        | B   | 学校教育課  |
| 3                  |                          | 幼保小中の連携          | B   | 学校教育課  |
| 4                  |                          | 読書活動の推進          | B   | 学校教育課  |
| 5                  |                          | 学校備品整備・情報教育      | B   | 学校教育課  |
| 6                  | きめ細やかな学びの支援              | 学力向上             | B   | 学校教育課  |
| 7                  |                          | 特別支援教育           | B   | 学校教育課  |
| 8                  |                          | 外国籍児童生徒の支援       | B   | 学校教育課  |
| 9                  | 安心安全な給食と食育の推進            | 給食運営・給食施設整備      | B   | 学校教育課  |
| 10                 | 学校施設の長寿命化と適正配置           | 学校施設の改修整備        | C   | 学校教育課  |
| 1－2：教育連携           |                          |                  |     |        |
| 11                 | 高等学校との連携                 | 高等学校振興           | B   | 学校教育課  |
| 12                 |                          | 私立高等学校振興         | B   | 学校教育課  |
| 13                 | 大学等との連携                  | 大学・高等学校との学習連携    | B   | 学校教育課  |
| 1－3：心の教育           |                          |                  |     |        |
| 14                 | 不登校対策の推進                 | 中間教室             | A   | 学校教育課  |
| 15                 |                          | 不登校児童生徒支援ネットワーク  | C   | 学校教育課  |
| 16                 | 虐待防止対策の推進                | 子育て教育支援相談、家庭児童相談 | B   | 子ども相談室 |
| 17                 | いじめ防止対策の推進               | 子どもと親の相談員の配置     | B   | 学校教育課  |
| 18                 |                          | スクールカウンセラーの配置    | B   | 学校教育課  |
| 1－4：青少年健全育成・家庭教育   |                          |                  |     |        |
| 19                 | 子どもの居場所と安心安全の確保          | 少年補導委員会・少年補導センター | B   | 生涯学習課  |
| 20                 |                          | 学童クラブ            | B   | 生涯学習課  |
| 21                 | 地域・関係機関との連携による           | 青少年育成対策          | B   | 生涯学習課  |
| 22                 | 家庭教育の充実                  | 二十歳のつどい          | B   | 生涯学習課  |
| 第2節 生涯にわたる学びの支援    |                          |                  |     |        |
| 2－1：生涯学習           |                          |                  |     |        |
| 23                 | 生涯学習・社会教育の推進             | 市民大学・市民大学大学院     | B   | 生涯学習課  |
| 24                 |                          | 高遠町桜大学           | B   | 生涯学習課  |
| 25                 |                          | 長谷地区生涯学習講演会      | B   | 生涯学習課  |
| 26                 |                          | 社会人権同和教育         | B   | 生涯学習課  |
| 27                 |                          | 学校人権同和教育         | B   | 学校教育課  |
| 28                 | 公民館活動の推進                 | 集会施設建設等補助        | B   | 生涯学習課  |
| 29                 |                          | 公民館共同事業          | B   | 生涯学習課  |
| 30                 |                          | 公民館事業            | B   | 生涯学習課  |
| 31                 | 図書館の充実                   | 蔵書管理             | B   | 生涯学習課  |
| 32                 |                          | 図書館イベント          | B   | 生涯学習課  |
| 33                 |                          | 図書館分館            | B   | 生涯学習課  |
| 2－2：文化・芸術          |                          |                  |     |        |

|     |                 |          |   |        |
|-----|-----------------|----------|---|--------|
| 3 4 | 文化芸術の振興と地域文化の育成 | 進徳館の日    | B | 生涯学習課  |
| 3 5 | 文化財の保存・継承・活用    | 史跡高遠城跡   | B | 生涯学習課  |
| 3 6 |                 | 民俗資料館    | B | 生涯学習課  |
| 3 7 |                 | 旧井澤家住宅   | B | 生涯学習課  |
| 3 8 |                 | 民俗文化の伝承  | B | 生涯学習課  |
| 3 9 |                 | 市誌編さん    | B | 市誌編さん室 |
| 4 0 | 文化芸術施設の充実及び活用   | 創造館      | B | 生涯学習課  |
| 4 1 |                 | 高遠町歴史博物館 | B | 生涯学習課  |
| 4 2 |                 | 信州高遠美術館  | B | 生涯学習課  |

## 第1節 地域への愛着と誇りを育む教育

児童生徒らが自ら生きる力を育むために、「はじめに子どもありき」の教育理念のもと、郷土の教育資源を生かした食育やキャリア教育をはじめ、体験や対話を重視した人間性に満ちた教育により、心豊かな人づくりに取り組みます。また、豊かな自然や歴史文化に恵まれた郷土の魅力を学び、ふるさとに対する誇りや感謝の気持ちを育むとともに、郷土愛を受け継ぐ次の世代の人材育成に努めます。

### 1－1： 学校教育

教育理念「はじめに子どもありき」の具現化を図るため、「学校教育の充実、学校・家庭・地域の連携強化」、「きめ細かな学びの支援」、「安心安全な給食と食育の推進」、「学校施設の耐震化・長寿命化と適正配置」により、全ての教育活動を「子どもに発し、子どもに還る」ものとするよう努めます。

#### (1) 学校教育の充実、学校・家庭・地域の連携強化

|            |                                                                                                                                                                                          |        |                                  |          |          |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|----------------------------------|----------|----------|
| 事務事業       | No.1                                                                                                                                                                                     | 総合的な学習 |                                  | R5 年度決算額 | 6,628 千円 |
| 事業の目的      | 子どもたちの生きる力、郷土を愛する心を育むため、地域の自然や歴史、文化を学習するなど、子どもの求めや願いを大切にしたい伊那市らしい総合的な学習を推進します。                                                                                                           |        |                                  |          |          |
| 事業内容       | 各学校が主体的に取り組む「体験学習」、「交流学习」、「体力づくり」など創造的な学習の支援                                                                                                                                             |        |                                  |          |          |
| 達成状況       | ○全小中学校において、地域の特色を活かした総合的な学習を実施しました。<br>○創造的活動推進事業交付金、信州型コミュニティ・スクール交付金を、全小中学校に交付しました。                                                                                                    |        |                                  |          |          |
|            | 区分                                                                                                                                                                                       | 学校名    | 令和5年度主な取り組み                      |          |          |
|            | 小学校                                                                                                                                                                                      | 伊那     | 動物飼育（山羊、ポニー他）、農作物栽培と調理、アスチック作りなど |          |          |
|            |                                                                                                                                                                                          | 伊那東    | 稲・花・野菜栽培、竹細工・土器の制作など             |          |          |
|            |                                                                                                                                                                                          | 伊那北    | 稲・野菜栽培、里山利用活動、いきいきサロンなど          |          |          |
|            |                                                                                                                                                                                          | 伊那西    | 学校林整備・学習、稲・野菜栽培と調理、バラの栽培など       |          |          |
|            |                                                                                                                                                                                          | 富県     | 稲・野菜栽培、保育園や高校、田楽座の皆さんとの交流等       |          |          |
|            |                                                                                                                                                                                          | 新山     | 地域探検、稲・野菜栽培と調理、アコギ生育・放流、地域交流活動など |          |          |
|            |                                                                                                                                                                                          | 美簗     | 稲・花・野菜栽培、ベンチづくり、桜並木整備など          |          |          |
|            |                                                                                                                                                                                          | 手良     | 地域学習、水辺観察、稲・花・野菜栽培、トランペット鼓隊など    |          |          |
|            |                                                                                                                                                                                          | 東春近    | 稲・花・野菜栽培、豆腐づくり、老松場の会、和菓子制作等      |          |          |
|            |                                                                                                                                                                                          | 西箕輪    | 稲・野菜栽培、伊那まつり連参加、マイグカップづくり等       |          |          |
|            |                                                                                                                                                                                          | 西春近北   | 権現山登山、太鼓学習、土岐学習、稲・野菜栽培、星空観察会など   |          |          |
|            |                                                                                                                                                                                          | 西春近南   | 森林作業、地域研修、高齢者交流、稲・野菜栽培と調理など      |          |          |
|            |                                                                                                                                                                                          | 高遠     | 孤軍高遠城・高遠囃子・高遠石工等地域学習、高校生との交流など   |          |          |
|            |                                                                                                                                                                                          | 高遠北    | 花壇活動、地域探検、音楽創、そば打ち、染め物など         |          |          |
|            |                                                                                                                                                                                          | 長谷     | 稲・野菜栽培、孝行猿の劇発表、長谷っ子講座、高齢者施設訪問など  |          |          |
|            | 中学校                                                                                                                                                                                      | 伊那     | 観光・行政・地域おこし各講座、職場体験、高校生との交流など    |          |          |
|            |                                                                                                                                                                                          | 東部     | 食育活動、キャリア学習、伊那養護との交流、ふるさと学習など    |          |          |
|            |                                                                                                                                                                                          | 西箕輪    | 清掃活動、フリマ、ベンチ製作、花壇整備、浴衣着付けなど      |          |          |
|            |                                                                                                                                                                                          | 春富     | キャリア学習、「とんぴちや祭り」、清掃奉仕活動など        |          |          |
|            |                                                                                                                                                                                          | 高遠     | 観桜期活動、高遠とうがらし栽培、そば打ち、石仏巡りなど      |          |          |
|            |                                                                                                                                                                                          | 長谷     | 花壇づくり、唐辛子栽培・ラー油づくり、JICA 交流など     |          |          |
| 事業の課題及び方向性 | 【課題】一人一人の子どもに、困難に直面した時、自分の総力で当たれば何とかなると思えるような知識や技能、活用する力などの総合的な力を育むことが望まれます。<br>【方向性】自然・文化・伝統などを題材に、学習する、体験する、つくる、交流するなどの活動を通して総合的な学習、創造的な活動に取り組みます。また、コミュニティスクールを軸に、地域に開かれた学校づくりを推進します。 |        |                                  |          |          |
| 自己評価       | B                                                                                                                                                                                        |        |                                  |          |          |

| 事 務 事 業    | No.2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | キャリア教育の推進 | R5 年度決算額 | 4,776 千円 |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|----------|----------|
| 事業の目的      | 子どもたちが社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現する力を育むために、学校、家庭、地域、産業界、行政が協働してキャリア教育の推進に取り組みます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |           |          |          |
| 事業内容       | ○伊那市キャリア教育推進委員会の運営<br>○職場体験学習の実施<br>○伊那市中学生キャリアフェスの実施<br>○キャリア教育かみいな交流会ほか郷土愛プロジェクト事業への参画                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |           |          |          |
| 達成状況       | ○市内中学生を対象に学校、事業所と連携を図りながら職場体験学習を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施生徒数 573 人 平均実施日数 3 日</li> <li>・受入れ事業所数 146 か所 (R2:96 か所、R3:132 か所、R4:160 か所)</li> </ul> ○中学生が新たな出会いや発見を体感しながら、地域の良さを改めて実感し、未来を考える機会として、「伊那市中学生キャリアフェス2023」を開催しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加生徒数 市内全6中学校2年生 577 人</li> <li>・出展者数 83</li> </ul> ※伊那養護学校の生徒がオンラインで参加しました。         ○上伊那の産学官組織が協働しながら、次世代育成や地域づくりを実践する郷土愛プロジェクトの事業に参画しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第10回キャリア教育かみいな交流会 in 箕輪町</li> <li>参加者 485 人 (R2:245 人、R3:220 人、R4:234 人)</li> </ul> |           |          |          |
| 事業の課題及び方向性 | <b>【課題】</b> 職場体験学習の実施に係る手続等の事務の流れは定着していますが、生徒・学校と受入れ事業所との目的、理念の共有を更に図っていく必要があります。<br><b>【方向性】</b> 事前・事後学習等を通じて生徒一人一人に目的意識を持たせるための支援を行うとともに、地域で子どもを育てるとする伊那市キャリア教育憲章のビジョンに関係者間で共有する取組を推進します。また、キャリア教育の一貫性、継続性を担保するため、小学校、高校等との更なる連携を図ります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |           |          |          |
| 自己評価       | B                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |           |          |          |

#### 伊那市中学生キャリアフェス2023



|            |                                                                                                                                                                                                                                                  |         |          |      |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|----------|------|
| 事務事業       | No.3                                                                                                                                                                                                                                             | 幼保小中の連携 | R5 年度決算額 | 2 千円 |
| 事業の目的      | <p>保育園・幼稚園と小学校双方が幼児期から学童初期における子どもの発達と活動（遊びと教育）についての理解を深め、育ちや学ぶ意欲がスムーズに引き継がれ、健やかな成長を支援できるよう幼児教育と小学校教育の双方の質の向上を図るとともに、中一ギャップと言われる中学校進学時の不登校の増加など、学校不適応への適切な対応を図ります。</p> <p>子どもが抱える課題などについて早い時期から情報の共有を図り、早期に適切な支援を行い、不適応、不登校等への早期対応、未然防止を図ります。</p> |         |          |      |
| 事業内容       | <p>○幼保小連絡会、小中連絡会の開催   ○学校行事等を通じた児童生徒の交流</p> <p>○保育士、小学校教職員の相互体験   ○幼保小・小中連携推進委員会開催</p> <p>○幼保小連携プログラムの実践</p>                                                                                                                                     |         |          |      |
| 達成状況       | <p>○保育士・小学校教職員の相互一日体験を実施、子どもの実態を体験的に感得することで双方の意識変革を促す取組になっています。</p> <p>○「幼保小連携推進委員会」において作成した伊那市版「幼保小連携プログラム」に基づく、地域の特性を生かしたアプローチ・スタートカリキュラムの作成、実践により、保育園から学校へのスムーズな接続が図られています。</p> <p>○支援を要する子どもを対象に「成長ダイアリー」を作成し、幼・保・小・中・高の情報共有を図っています。</p>     |         |          |      |
| 事業の課題及び方向性 | <p>【課題】小1 プробレム、中1 ギャップと言われる進学時の学校不適応への対応が求められています。</p> <p>【方向性】児童生徒、教職員間の相互交流などを通して心的距離の縮小を図ります。</p> <p>伊那市版「幼保小連携プログラム」について、カリキュラムの実践、検証、見直しを進めます。</p>                                                                                        |         |          |      |
| 自己評価       | B                                                                                                                                                                                                                                                |         |          |      |

|            |                                                                                                                                                                                                                                                                                     |         |          |           |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|----------|-----------|
| 事務事業       | No.4                                                                                                                                                                                                                                                                                | 読書活動の推進 | R5 年度決算額 | 52,077 千円 |
| 事業の目的      | <p>心豊かな人間性と自ら学ぶ学習意欲を育むため、学校図書館の充実を図るとともに、読書活動を推進します。</p>                                                                                                                                                                                                                            |         |          |           |
| 事業内容       | <p>○学校司書の配置</p> <p>○読み聞かせボランティアの活用及び充実</p> <p>○学校図書館システム活用</p>                                                                                                                                                                                                                      |         |          |           |
| 達成状況       | <p>○「朝読書」などの全校一斉読書、地域のボランティア等による読み聞かせを全小中学校で行っています。</p> <p>○全校に配置した学校司書（17 人（うち2校勤務4人））が、読書活動や図書館活用の支援、読書環境の充実に力を発揮しています。</p> <p>○図書館システムを全小中学校に導入し、活用しています。</p> <p>【参考】図書館の本の1人当たり平均貸出冊数</p> <p>小学校 112 冊（R2:120 冊、R3:115 冊、R4:113 冊）</p> <p>中学校 27 冊（R2:32 冊、R3:31 冊、R4:28 冊）</p> |         |          |           |
| 事業の課題及び方向性 | <p>【課題】読書習慣の定着、自主的、主体的学習活動の支援、情報の収集、選択、活用能力の育成が求められています。また、図書館システムの更なる有効活用を検討する必要があります。</p> <p>【方向性】引き続き学校図書館の蔵書の充実を図るとともに、図書館を活かし子どもの読書活動や調べ学習を支える学校司書を配置します。</p> <p>読み聞かせボランティアの活用を図り、読書活動を推進します。</p> <p>市立図書館と連携し、図書館システムの有効活用を図ります。</p>                                         |         |          |           |
| 自己評価       | B                                                                                                                                                                                                                                                                                   |         |          |           |

|            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |             |          |           |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|----------|-----------|
| 事務事業       | No.5                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 学校備品整備・情報教育 | R5 年度決算額 | 23,832 千円 |
| 事業の目的      | 情報教育を含む教育環境の充実を図るため、教材備品及び情報機器の整備を推進します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |             |          |           |
| 事業内容       | ○一般教材・理科教材備品の整備<br>○タブレット端末、校務用パソコン、電子黒板セット等の環境整備<br>○「学校教育の情報化ビジョン」実現のための取組及び検証                                                                                                                                                                                                                                                                             |             |          |           |
| 達成状況       | ○必要な教材備品及び情報機器を整備しました。<br>○コロナ禍において対面の研修実施が難しい中、オンライン等工夫しながら教員のスキルアップに努め、学級閉鎖や自宅待機児童生徒に対し遠隔授業が行うことができました。<br>○学力向上検討委員会・情報委員会での検討により小中全校での AI ドリルを導入し、活用推進を行っています。<br>○ICT 活用教育専門幹を配置し、さらなる ICT 活用推進へ向けた取組みをおこないました。<br>○地域おこし協力隊2名を配してリテラシー教育の支援と、さまざまな活動の状況を発信しました。<br><br><b>【参考】</b> タブレット端末の総数 児童生徒用 5,393 台 教員用 449 台<br>電子黒板及び周辺機器整備台数 316 セット (21 校) |             |          |           |
| 事業の課題及び方向性 | <b>【課題】</b> GIGA スクール構想による整備により1人1台のタブレット整備がされ、これまでに以上に児童生徒及び教員のスキルアップやセキュリティ意識の向上が必要となっています。<br><b>【方向性】</b> 学校からの要望に基づき、教材備品・理科備品を整備すること、情報教育においては、児童生徒の個別最適な学び・主体的な学び・創造性を育む学び実現のため、支える教員の ICT 研修会や支援体制の充実をはかるとともに、ICT 活用指導力向上を目指します。また、情報セキュリティ意識の向上と正しい利用のため情報リテラシー教育を進めます。                                                                             |             |          |           |
| 自己評価       | B                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |             |          |           |

## (2) きめ細やかな学びの支援

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |      |          |          |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------|----------|
| 事務事業  | No.6                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 学力向上 | R5 年度決算額 | 5,121 千円 |
| 事業の目的 | 自ら学ぶ意欲や学習習慣の形成を図るため、①学力検査の結果などを基に授業改善などに努め、児童・生徒一人一人の実態に応じた学習指導を行います。②小学校と中学校の放課後等に行われる自発的な学習活動を支援します。③中学生が長期休業中でも安心して過ごせる学びの場所を確保します。                                                                                                                                                                                               |      |          |          |
| 事業内容  | ○総合学力調査の実施<br>・小学3年生算数 (554 人)、小学4年生国語・算数 (522 人)、小学5年生国語・算数 (569 人)<br>・中学1年生国語・数学・英語 (533 人)、中学2年生国語・数学・英語 (538 人)<br>○総合学力調査結果の分析と授業改善<br>○小学生の学力向上支援(授業中、業間、放課後)事業の実施<br>○中学生の放課後学習支援事業の実施<br>○読み書きにつまずきのある児童の早期発見・支援事業の実施<br>○中学校の長期休業中に、学習支援を受けながら自主的に学びを深め、基礎的な学力の定着を図るとともに、長期休業中の規則正しい学習リズムと安心できる居場所を確保する                    |      |          |          |
| 達成状況  | ○総合学力調査結果の分析を基に個別指導、授業改善に取り組みました。<br>○教育長、指導主事、学校長で構成する「学力向上検討委員会」を設置し、検査結果の検討、分析を行うとともに、「学力向上のための実践事例発表や講演会」を開催し、検査結果を基にした授業改善と有識者講師による講演から今後の進めるべき方向性を提案しました。<br>○中学校の放課後学習支援員を募集、委嘱し、中学生の学力向上を支援しました。<br>受講生徒数 190 人 (H30:402 人、R1:346 人、R2:219 人、R3:223 人、R4:248 人)<br>支援員数 28 人 (H30: 51 人、R1: 60 人、R2: 67 人、R3: 41 人、R4: 59 人) |      |          |          |



|            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|            | <p>○小学校の放課後等の学習支援員による学力向上支援事業を行いました。</p> <p>受講児童数 975 人 (H30:1130 人、R1:1119 人、R2:341 人、R3:1335 人、R4:1054 人)</p> <p>支援員数 43 人 (H30: 59 人、R1: 53 人、R2: 30 人、R3: 53 人、R4: 40 人)</p> <p>○全小学校の 1 年生～3 年生に MIM(多層指導モデル)の導入をしており、読み書きについての研修を実施しました。</p> <p>○中学校の長期休業中(夏・冬・春)に「中学生の自習室」として市内 5 ヶ所の公民館を会場に、学習支援員を配置し、午前中の時間、お昼の軽食付きで実施しました。</p> <p>延べ参加生徒数 405 人 (夏) 250 人、(冬) 79 人、(春) 76 人</p> |
| 事業の課題及び方向性 | <p>【課題】全国平均に比してやや低い正答率です。</p> <p>【方向性】市校長教頭会の学力向上検討委員会において各教科を分析し、改善策を検討し、授業づくり研修会で提案するとともに、学力向上支援ボランティアや A I ドリルの活用を進めます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 自己評価       | B                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |



中学生の自習室 (西箕輪公民館)



放課後学力向上支援事業 (西箕輪中学校)

| 事 務 事 業    | No. 7                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 特別支援教育 | R5 年度決算額 | 90, 045 千円 |       |                 |  |     |  |                 |     |      |     |      |     |     |    |     |    |       |     |     |    |     |    |       |     |     |    |     |    |       |     |     |    |     |    |       |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|----------|------------|-------|-----------------|--|-----|--|-----------------|-----|------|-----|------|-----|-----|----|-----|----|-------|-----|-----|----|-----|----|-------|-----|-----|----|-----|----|-------|-----|-----|----|-----|----|-------|
| 事業の目的      | 知的障害、肢体不自由、病弱・身体虚弱、弱視、難聴、言語障害、情緒障害等心身に障害のある児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |        |          |            |       |                 |  |     |  |                 |     |      |     |      |     |     |    |     |    |       |     |     |    |     |    |       |     |     |    |     |    |       |     |     |    |     |    |       |
| 事 業 内 容    | ○特別支援教育支援員・講師の配置<br>○伊那中央病院院内学級の設置、運営<br>○ことばの教室（伊那小学校・高遠小学校（サテライト教室））、まなびの教室（伊那北小学校・東春近小学校（サテライト教室））及び学びの教室（東部中学校）の設置・運営<br>○特別支援教育就学奨励費の支給                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |        |          |            |       |                 |  |     |  |                 |     |      |     |      |     |     |    |     |    |       |     |     |    |     |    |       |     |     |    |     |    |       |     |     |    |     |    |       |
| 達 成 状 況    | ○特別な教育的支援を必要とする児童生徒の増加に対応するため、特別支援教育支援員を市費で配置しました。<br>【参考】特別支援学級在籍児童生徒数・クラス数・支援員数<br><table><tr><th rowspan="2"></th><th colspan="2">小学校</th><th colspan="2">中学校</th><th rowspan="2">支援員数<br/>内( )講師数</th></tr><tr><th>児童数</th><th>クラス数</th><th>生徒数</th><th>クラス数</th></tr><tr><td>R 2</td><td>252</td><td>47</td><td>130</td><td>23</td><td>43(1)</td></tr><tr><td>R 3</td><td>248</td><td>46</td><td>132</td><td>23</td><td>46(1)</td></tr><tr><td>R 4</td><td>242</td><td>48</td><td>135</td><td>22</td><td>46(0)</td></tr><tr><td>R 5</td><td>239</td><td>47</td><td>129</td><td>22</td><td>51(0)</td></tr></table><br>特別支援教育就学奨励費の支給 220 人（R1:238 人、R2:248 人、R3:238 人）<br>○副学籍制度による、特別支援学校に就学する児童生徒と居住する地域の小中学校の児童生徒の交流及び共同学習の拡充に努めました。（副学籍児童生徒 44 名） |        |          |            |       | 小学校             |  | 中学校 |  | 支援員数<br>内( )講師数 | 児童数 | クラス数 | 生徒数 | クラス数 | R 2 | 252 | 47 | 130 | 23 | 43(1) | R 3 | 248 | 46 | 132 | 23 | 46(1) | R 4 | 242 | 48 | 135 | 22 | 46(0) | R 5 | 239 | 47 | 129 | 22 | 51(0) |
|            | 小学校                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |        | 中学校      |            |       | 支援員数<br>内( )講師数 |  |     |  |                 |     |      |     |      |     |     |    |     |    |       |     |     |    |     |    |       |     |     |    |     |    |       |     |     |    |     |    |       |
|            | 児童数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | クラス数   | 生徒数      | クラス数       |       |                 |  |     |  |                 |     |      |     |      |     |     |    |     |    |       |     |     |    |     |    |       |     |     |    |     |    |       |     |     |    |     |    |       |
| R 2        | 252                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 47     | 130      | 23         | 43(1) |                 |  |     |  |                 |     |      |     |      |     |     |    |     |    |       |     |     |    |     |    |       |     |     |    |     |    |       |     |     |    |     |    |       |
| R 3        | 248                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 46     | 132      | 23         | 46(1) |                 |  |     |  |                 |     |      |     |      |     |     |    |     |    |       |     |     |    |     |    |       |     |     |    |     |    |       |     |     |    |     |    |       |
| R 4        | 242                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 48     | 135      | 22         | 46(0) |                 |  |     |  |                 |     |      |     |      |     |     |    |     |    |       |     |     |    |     |    |       |     |     |    |     |    |       |     |     |    |     |    |       |
| R 5        | 239                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 47     | 129      | 22         | 51(0) |                 |  |     |  |                 |     |      |     |      |     |     |    |     |    |       |     |     |    |     |    |       |     |     |    |     |    |       |     |     |    |     |    |       |
| 事業の課題及び方向性 | 【課 題】特別支援学級に在籍している児童生徒数は概ね横ばいとなっています。自・情障学級では、学年が上がっても在籍児童数が減少しない傾向にあることなどが理由として挙げられます。また、通常学級においても学習障害（LD）、注意欠陥多動性障害（ADHD）、広汎性発達障害等、学習や生活の面で特別な教育的支援を必要とする児童生徒が増加しており、支援体制の充実が求められています。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |        |          |            |       |                 |  |     |  |                 |     |      |     |      |     |     |    |     |    |       |     |     |    |     |    |       |     |     |    |     |    |       |     |     |    |     |    |       |

|      |                                                                                                                                                                                                           |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|      | <p>【方向性】関係機関との連携を図り、子どもの教育的ニーズに最も的確に応える支援を提供するとともに、ノーマライゼーションの観点からも、自・情障学級から通常学級への転籍に向けた支援のあり方を検討する必要があります。</p> <p>また、児童生徒、保護者等が障害への理解を深めるとともに、特別支援学校に通う子どもたちが、友だちとの繋がりや地域での存在感を継続できるよう副学籍制度の充実に努めます。</p> |
| 自己評価 | B                                                                                                                                                                                                         |

|            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |            |       |          |            |  |        |        |       |     |    |    |    |     |    |    |    |     |    |    |    |     |    |    |    |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-------|----------|------------|--|--------|--------|-------|-----|----|----|----|-----|----|----|----|-----|----|----|----|-----|----|----|----|
| 事 務 事 業    | No.8                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 外国籍児童生徒の支援 |       | R5 年度決算額 | 11, 476 千円 |  |        |        |       |     |    |    |    |     |    |    |    |     |    |    |    |     |    |    |    |
| 事業の目的      | 通訳、相談、学習支援等の支援体制を整備し、外国籍児童生徒の学校生活への適応、学力の定着を図る。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |            |       |          |            |  |        |        |       |     |    |    |    |     |    |    |    |     |    |    |    |     |    |    |    |
| 事 業 内 容    | ○日本語教室の設置、運営（伊那東小、伊那北小、東部中）<br>○外国語児童生徒支援相談員の配置（伊那北小、東部中）<br>・児童生徒の学習及び学校生活の支援、家庭への便りの作成、家庭との連絡、通訳等<br>○発達障害等、特別な教育的支援を必要とする外国籍児童の支援、家庭と学校との連絡、通訳等に当たる支援員の配置（伊那東小）                                                                                                                                                                                                                                    |            |       |          |            |  |        |        |       |     |    |    |    |     |    |    |    |     |    |    |    |     |    |    |    |
| 達 成 状 況    | <div>外国籍児童生徒に対する、通訳、相談、学習等の支援を継続して行いました。<br/>【参考】外国籍児童生徒数</div> <table><tr><td></td><td>伊那東小学校</td><td>伊那北小学校</td><td>東部中学校</td></tr><tr><td>R 2</td><td>36</td><td>47</td><td>32</td></tr><tr><td>R 3</td><td>22</td><td>46</td><td>41</td></tr><tr><td>R 4</td><td>22</td><td>38</td><td>37</td></tr><tr><td>R 5</td><td>22</td><td>41</td><td>33</td></tr></table> <div>その他 小学校6校21人、中学校3校5人</div> |            |       |          |            |  | 伊那東小学校 | 伊那北小学校 | 東部中学校 | R 2 | 36 | 47 | 32 | R 3 | 22 | 46 | 41 | R 4 | 22 | 38 | 37 | R 5 | 22 | 41 | 33 |
|            | 伊那東小学校                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 伊那北小学校     | 東部中学校 |          |            |  |        |        |       |     |    |    |    |     |    |    |    |     |    |    |    |     |    |    |    |
| R 2        | 36                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 47         | 32    |          |            |  |        |        |       |     |    |    |    |     |    |    |    |     |    |    |    |     |    |    |    |
| R 3        | 22                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 46         | 41    |          |            |  |        |        |       |     |    |    |    |     |    |    |    |     |    |    |    |     |    |    |    |
| R 4        | 22                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 38         | 37    |          |            |  |        |        |       |     |    |    |    |     |    |    |    |     |    |    |    |     |    |    |    |
| R 5        | 22                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 41         | 33    |          |            |  |        |        |       |     |    |    |    |     |    |    |    |     |    |    |    |     |    |    |    |
| 事業の課題及び方向性 | <div>【課 題】障害があり特別な支援を必要とする外国籍児童への対応や多様な言語への対応を求められるケースが増えています。</div> <div>【方向性】日本語教室の設置、運営と外国語児童生徒支援相談員等の適切な配置を引き続き行います。</div>                                                                                                                                                                                                                                                                        |            |       |          |            |  |        |        |       |     |    |    |    |     |    |    |    |     |    |    |    |     |    |    |    |
| 自己評価       | B                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |            |       |          |            |  |        |        |       |     |    |    |    |     |    |    |    |     |    |    |    |     |    |    |    |

### (3)安心安全な給食と食育の推進

| 事 務 事 業    | No.9                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 給食運営・給食施設整備 | R5 年度決算額 | 259,342 千円 |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|----------|------------|
| 事業の目的      | 児童生徒が食事に関する正しい理解と望ましい食習慣を身につけるため、栄養バランスのとれた給食を提供するとともに、食育を推進します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |             |          |            |
| 事業内容       | ○学校給食運営<br>○栄養士、給食技師の配置<br>○伊那市学校給食食農体験事業「暮らしのなかの食」への取り組み                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |             |          |            |
| 達成状況       | <p>食材の共同購入により、経費の縮減を図るとともに、栄養士を各学校及び調理場に配置することにより、食育の推進を図り、地産地消の安全安心な美味しい給食を提供しました。<br/>         (令和5年度県内産食材利用率 約51.4%)</p> <p>【参考】給食提供数R5:1,141,032食(R2:1,087,622食、R3:1,188,341食、R4:1,157,983食)<br/>         給食技師数R5:69人(73人、R2:77人、R3:78人、R4:74)<br/>         給食1食あたりの経費 R5:213円(R2:224円、R3:212円、R4:214)</p> <p>【参考】給食運営費÷給食提供数＝R5:242,547,822円÷1,141,032食(四捨五入)</p> <p>耐用年数を迎えた給食施設の更新を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・春富中学校ボイラー更新工事 6,160千円</li> <li>・西箕輪学校給食共同調理場ガス回転釜(内釜)の購入 1,289千円</li> <li>・東部中学校ガス回転釜の購入 1,712千円</li> <li>・伊那市学校給食食農体験事業「暮らしのなかの食」への取り組みを市内全校で行いました。</li> <li>・活動事業費(食育に係る各学校への配当等) 1,471千円</li> <li>・物価高騰の社会情勢を踏まえ、学校給食の質と量を維持するため、学校給食会計に対し食材、原材料の値上がり分を補助しました。(増加率8%) 24,066千円</li> </ul> |             |          |            |
| 事業の課題及び方向性 | <p>【課題】子どもに安全安心、そして美味しい給食を提供するとともに、子どもの食に対する理解を深める必要があります。また、物価が高止まり傾向にある中、学校給食の質と量を維持していくことが求められています。</p> <p>【方向性】各学校と連携を取りながら、本格的な農業体験に基づく作物の育成、食材の生産及び食に対する「いただきます」「もったいない」の感性を育む食農体験事業「暮らしのなかの食」の取り組みを小中学校21校で継続します。また、人的配置、食材調達等効率的な給食運営を図るとともに、給食の質と量を維持するための取組、国・県に対する必要な要望等を行っていきます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |             |          |            |
| 自己評価       | B                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |             |          |            |



田植え

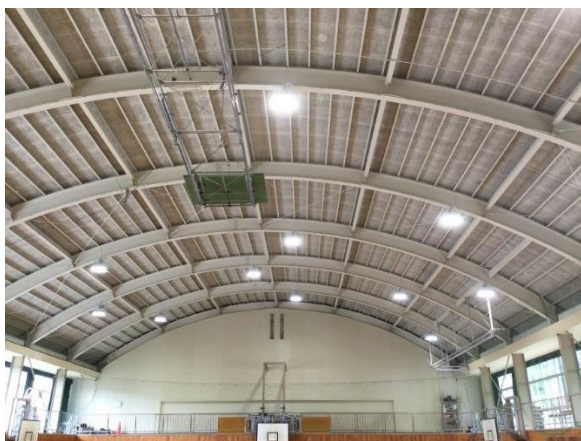


味噌づくり

#### (4) 学校施設の長寿命化と適正配置

| 事 務 事 業    | No.10                                                                                                                                                                                                                                        | 学校施設の改修整備 | R5 年度決算額 | 62,546 千円 |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|----------|-----------|
| 事業の目的      | ○児童生徒の安全確保と地域の防災拠点の整備を図るため、小中学校施設のトイレの改修を行います。<br>○施設の維持管理を行うとともに、教育環境の改善を図るため、校舎内外の大規模改修整備を行います。                                                                                                                                            |           |          |           |
| 事業内容       | ○長寿命化・改修工事<br>照明のLED化等の改修を行うとともに、トイレの洋式化を含めトイレの改修を進めています。                                                                                                                                                                                    |           |          |           |
| 達成状況       | ○トイレ改修工事の実施<br>(1) 高遠中学校トイレ改修工事<br>○大規模改修工事等<br>(1) 東部中学校体育館 (LED 照明改修)<br>(2) 春富中学校体育館 (LED 照明改修)<br>(3) 小学校ペレットストーブ設置 (西箕輪小 11 基、西箕輪中 10 基)                                                                                                |           |          |           |
| 事業の課題及び方向性 | <b>【課題】</b> 市内小中学校施設は、昭和40年代後半から昭和50年代の児童生徒の急増期又はそれ以前に建築されたものが過半数を占め、プール等の設備を含め老朽化対策が喫緊の課題になっており、安全な学習環境のための対策が急務となっています。<br><b>【方向性】</b> 令和2年度に「学校施設長寿命化計画(個別計画)」を策定しました。引き続き、国などの有利な財源を活用し、学校施設の改修工事を推進するとともに、施設等の老朽化の状況から計画の前倒し等の検討を進めます。 |           |          |           |
| 自己評価       | C                                                                                                                                                                                                                                            |           |          |           |

※老朽化による修繕箇所が増大していて、回収が間に合っていない。時間経過とともに今後も増える。



美簗小学校体育館 (LED 照明改修)



高遠中学校トイレ (洋式化改修)



## 1－2：教育連携

地域の高等学校と連携を図り、社会変化に対応した教育内容の充実と魅力ある高等教育について働きかけるほか、引き続き過疎地域・私立高等学校の振興のため支援に取り組みます。また、大学や短期大学との連携・交流により、高度で専門性のある教育を受ける環境を創出します。

### (1) 高等学校との連携

| 事務事業       | No.1 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 高等学校振興 | R5 年度決算額 | 3,000 千円 |  |     |     |     |     |      |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|----------|----------|--|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 事業の目的      | 過疎地域の高等学校の振興を図るため、高遠高等学校振興会の活動を支援します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |        |          |          |  |     |     |     |     |      |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
| 事業内容       | 高遠高等学校振興会活動の支援                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |        |          |          |  |     |     |     |     |      |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
| 達成状況       | <p>○高遠高等学校振興会へ負担金を支出し振興会事業を支援しました。</p> <p>○H23 から振興会で行う通学費補助事業の経費を市で負担しています。</p> <p>○H 7 にコース制導入後、文科省の学力向上実践研究校としての実践研究（H21 から3年間）、長野大学、日本福祉大学、東京藝術大学など高大連携の拡充を図るとともに、H24 には、高遠高等学校の将来像検討委員会を設置し、教育内容の改善、充実に努めています。また、伊澤修二記念音楽祭ほか、地域や保育園、小中学校と連携した取組を進めています。</p> <p>○入学者数の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>R 2</th><th>R 3</th><th>R 4</th><th>R 5</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入学者数</td><td>116</td><td>103</td><td>103</td><td>105</td></tr> <tr> <td>定 員</td><td>120</td><td>120</td><td>120</td><td>120</td></tr> </tbody> </table> <p>○バス通学費補助<br/>125 人、1,600 千円<br/>(R2:143 人、1,600 千円、R3:133 人、1,600 千円、R4:125 人、1,600 千円)</p> |        |          |          |  | R 2 | R 3 | R 4 | R 5 | 入学者数 | 116 | 103 | 103 | 105 | 定 員 | 120 | 120 | 120 | 120 |
|            | R 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | R 3    | R 4      | R 5      |  |     |     |     |     |      |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
| 入学者数       | 116                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 103    | 103      | 105      |  |     |     |     |     |      |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
| 定 員        | 120                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 120    | 120      | 120      |  |     |     |     |     |      |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
| 事業の課題及び方向性 | <p>【課 題】定員確保、高等学校再編後も存続可能な将来像の構築が求められています。</p> <p>【方向性】高遠高等学校は、コース制を導入する等、特色ある学校運営を行っています。地域の魅力ある学校として発展していくためにも、「高遠学園構想」に基づく特色ある教育の拡充、高遠中学校等との連携及び定員確保へ向けた遠距離通学者の利便性を高める支援が引き続き必要です。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |        |          |          |  |     |     |     |     |      |     |     |     |     |     |     |     |     |     |
| 自己評価       | B                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |        |          |          |  |     |     |     |     |      |     |     |     |     |     |     |     |     |     |

| 事務事業       | No.1 2                                                                                                                                                                                                                                                        | 私立高等学校振興 | R5 年度決算額 | 946 千円 |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|----------|--------|
| 事業の目的      | 地域の私立高等学校の振興を図るため、私立高等学校の運営を支援します。                                                                                                                                                                                                                            |          |          |        |
| 事業内容       | 伊那西高等学校に対する支援<br>・職員の待遇改善・福利厚生、保護者の負担軽減等の支援                                                                                                                                                                                                                   |          |          |        |
| 達成状況       | <p>同校は、市内の生徒を多数受け入れており、地域の高等学校教育に大きな役割を果たし、地域に根ざした高等学校として定着しています。</p> <p>【参考】定額補助 1 校当たり600,000円 (H22から600,000円)<br/>生徒割補助 1 人当たり 2,600円 (H22から 2,600円)<br/>伊那市に住所を有する生徒数 133 人 (R2:148 人、R3:166 人、R4:159 人)<br/>全校生徒数 366 人 (R2:411 人、R3:422 人、R4:405 人)</p> |          |          |        |
| 事業の課題及び方向性 | <p>【課 題】S63 から普通コース、進学コースの2コース制を導入しています。地域の中学校との連携を重視し、受験機会の複数化、特色ある教育の充実及び定員確保に引き続き努めていく必要があります。</p> <p>【方向性】地域の高等学校教育に果たす役割や学校運営を取り巻く厳しい状況を考慮し、学校運営費補助を継続して行います。</p>                                                                                        |          |          |        |
| 自己評価       | B                                                                                                                                                                                                                                                             |          |          |        |

## (2)大学・高等学校との学習連携

| 事務事業       | No.1 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | 大学・高等学校等との連携 | R5 年度決算額 | 0 千円 |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|----------|------|
| 事業の目的      | 高度で専門性のある教育を受ける環境を創出します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |              |          |      |
| 事業内容       | 大学、市内高等学校との学習連携強化                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |              |          |      |
| 達成状況       | <p>【伊那小】5年生が総合学習の時間に南信工科短期大学の教授と学生からアドバイスをいただいた。【伊那東小】本校の信州型コミュニティスクールで農業支援ボランティアとして上伊那農業高校の生徒と一緒に畑での活動に取り組んだ。【伊那西小】武蔵野大学の学生が全学級に入り授業の参観及び児童との交流を行った。【富県小】上伊那農業高校の生徒と一緒に経木を使った作品を作ったり、モルックで遊んだりした。【西箕輪小】信州大学の学生ボランティア3名が年間4回の学習支援に参加した。【高遠小】高校生による合唱指導を受けた。高校生による書き初め指導を受けた。【高遠北小】高遠高校の生徒による書写指導を3年生以上の児童を対象に3回実施した。伊澤修二音楽祭に向けて東京藝大 佐野 靖 副学長に指導を受けた。【伊那中】①進路学習の一環として、伊那西、伊那北、駒ヶ根工業、高遠、赤穂、箕輪進修、辰野、伊那弥生ヶ丘、上伊那農業、松本国際、東海大付属諏訪、東京都市大塩尻の各高校の方々を講師に迎えて高校の先輩・先生方と語る会を実施した。②探究学習マインクエストで、赤穂高、駒ヶ根工業高、伊那弥生ヶ丘高、伊那北高、信州大学農学部 of 生徒、学生、教員らが講師になり、体験活動や講義を実施した。③探究学習マイチャレンジでは、伊那北高校1年生3名、本校十数名と交流・意見交換会を実施した。【東部中】上伊那郡内の高校生に來校いただき、3年生へ高校生活のお話しや受験に向けてのアドバイスを話していただく会を実施した。【西箕輪中】信州大学工学部と連携した理科の教材開発を行った。【高遠中】①高遠高校の生徒から写生会で絵画指導を受けた。②高遠高校の生徒に歌唱指導を受けた。③伊澤修二記念音楽祭に向けて、東京藝大の方に歌唱指導を受けた。【長谷中】高遠高校合唱部が参加して小中合同で音楽会を行った。(取組 12校/21校)</p> |              |          |      |
| 事業の課題及び方向性 | <p>【課題】連携にあたっては、互恵関係がある活動とすることが望まれ、実施にあたっては時期や時間の調整など事前準備が必要となります。</p> <p>【方向性】学習に係る取組によりより高度な知識やスキルを身につけることで学習意欲が高まったり、進学先の情報を得ることで進路選択のサポートにつながったりすることが期待されます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |              |          |      |
| 自己評価       | B                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |              |          |      |



上伊那農業高校生徒と経木使った作品を製作



信大工学部との教材共同開発実証授業

### 1-3：心の教育

小中学校における心の問題や不登校、いじめ、虐待問題など様々な悩みを抱える児童生徒に対して、各種相談やきめ細かな支援を行うため、学校・家庭・地域・関係機関の連携強化を図るとともに、良好な環境の中で子育てができるよう家族全体を支援します。

#### (1) 不登校対策の推進

| 事務事業       | No.1 4                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 中間教室 | R5 年度決算額 | 9,515 千円 |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|----------|----------|
| 事業の目的      | 不登校の児童生徒の居場所を確保し、集団適応指導、学習指導及び教育相談等を行います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |      |          |          |
| 事業内容       | <p>中間教室の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適応指導員による相談支援、体験活動、集団活動、学習指導等</li> </ul> <p>【小学部】開設：毎週月～金曜日、時間：9:00～15:00、会場：やまびこ学級</p> <p>【中学部】開設：毎週月～金曜日、時間：9:00～15:00、会場：やまびこ学級</p> <p>【夜間部】開設：毎週月～水曜日、時間：17:30～20:00、会場：やまびこ学級</p> <p>【寺子屋】開設：毎週月～金曜日、時間：14:00～17:00、会場：市内公民館等（5か所）</p> <p>【伊宝館】開設：木曜日、時間：9:00～16:00、会場：伊宝館</p>                                                                                                                                                    |      |          |          |
| 達成状況       | <p>○中間教室通室児童生徒に対し、集団適応指導、学習指導及び教育相談等を行いました。また、教育支援コーディネーターを配置するとともに、夜間部（夜の中間教室）、寺子屋（分室）及び食農体験型の中間教室「伊宝館」を運営し、多様な学びの場の確保に努めました。</p> <p>【参考】通室者数 小学部 17人（R1:4人、R2:3人、R3:9人、R4:17人）<br/>         中学部 19人（R1:10人、R2:10人、R3:22人、R4:30人）<br/>         夜間部 14人（R3:10人、R4:13人）※重複計上あり<br/>         寺子屋 4人（R3:11人、R4:11人）<br/>         伊宝館 17人（R4:18人）※重複計上あり</p> <p>通室割合（通室児童生徒数／不登校児童生徒数）<br/>         小学生 20.3%（R2:10.7%、R3:19.6%、R4:21.0%）<br/>         中学生 21.3%（R2:16.7%、R3:19.6%、R4:25.2%）</p> |      |          |          |
| 事業の課題及び方向性 | <p>【課題】長期化した不登校児童生徒への支援が課題であり、未然防止、早期発見、早期対応が求められています。</p> <p>【方向性】学校、子ども相談室、医療機関等との連携を図りながら、児童生徒、家庭への早期対応、支援に努めます。</p> <p>不登校となっている児童生徒が、将来自立できるように（ひきこもりとならないために）訪問型の支援や多様な学びの場の充実など、新たな取組を推進します。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                      |      |          |          |
| 自己評価       | A                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |      |          |          |

| 事務事業  | No.1 5                                                                                                                                     | 不登校児童生徒支援ネットワーク | R5 年度決算額 | 30,104 千円 |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|----------|-----------|
| 事業の目的 | 指導主事、学校、子ども相談室、中間教室、福祉、医療、民間支援団体等、関係機関が連携し不登校児童生徒の早期発見、早期対応、支援を行います。                                                                       |                 |          |           |
| 事業内容  | <p>○指導主事、学校、中間教室、子ども相談室等が連携した不登校児童生徒の支援</p> <p>○中学校への市費特別加配講師の配置</p> <p>○不登校等の児童生徒に対するNPO法人と連携した居場所の提供</p> <p>○子どもの居場所づくりを行うNPO法人の運営支援</p> |                 |          |           |
| 達成状況  | <p>○不登校児童生徒は増加傾向あります。</p> <p>○不登校・不適応の傾向を持つ生徒の生活指導や教科指導を行うため、中学校に市費特別加配講師を配置しました。（5中学校へ11人）</p> <p>【参考】不登校児童生徒数・割合（ ）は%</p>                |                 |          |           |

|            |                                                                                                                                                                             | R 2            | R 3          | R 4          | R 5          |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------|--------------|--------------|--------------|
|            | 小学校                                                                                                                                                                         | 28 人 (0.81)    | 46 人 (1.35)  | 81 人 (2.40)  | 118 人 (3.50) |
|            | 中学校                                                                                                                                                                         | 60 人 (3.12)    | 112 人 (5.91) | 119 人 (6.54) | 155 人 (8.76) |
|            | 合計                                                                                                                                                                          | 88 人 (1.63)    | 158 人 (2.97) | 200 人 (3.85) | 273 人 (5.32) |
| 事業の課題及び方向性 | <b>【課 題】</b> 早期発見、早期対応等により、不登校を長期化させない対応が必要です。<br><b>【方向性】</b> 「チーム学校」として関係教職員が連携し、相談・支援体制の充実を図るとともに、関係機関と連携して対応します。また、児童生徒理解に基づく不登校児童生徒の早期発見・早期対応等、新たな不登校を出さないための取組を強化します。 |                |              |              |              |
| 自己評価       | C                                                                                                                                                                           | ※不登校児童生徒増加のため。 |              |              |              |

## (2) 虐待防止対策の推進

|            |                                                                                                                                                                                                                             |               |          |           |         |         |         |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|----------|-----------|---------|---------|---------|
| 事 務 事 業    | No.1 6                                                                                                                                                                                                                      | 教育支援相談、家庭児童相談 | R5 年度決算額 | 32,026 千円 |         |         |         |
| 事業の目的      | 親の養育力や家族機能を高め、子どもの自立へ向けての生きる力を培うため、家族、地域、関係機関が連携し、乳幼児期から思春期までの子育てや教育に関する相談支援を行います。                                                                                                                                          |               |          |           |         |         |         |
| 事業内容       | ○子ども及びその家庭に関する相談対応及び要保護児童対策地域協議会の運営<br>○教育に関する相談対応及び教育支援委員会の運営<br>○要保護・要支援児童及び家庭への必要な支援の実施<br>○ヤングケアラーの把握とケースに応じた支援の実施                                                                                                      |               |          |           |         |         |         |
| 達成状況       | ○虐待通告や相談に対し、児相・警察・学校などの関係機関と連携しつつ、要対協議や、個別ケース支援会議を開催し対応を図りました。<br>○教育支援委員会を年間 18 回開催し、その児童生徒に合った適切な就学及びその後の一貫した教育支援を行いました。<br>○支援の必要な家庭に対し、一時休息（レスパイト）事業、ヘルパー訪問事業等を実施しました。<br>○ヤングケアラー把握のための調査を行い、該当家庭に必要な支援を行いました。<br>【参考】 |               |          |           |         |         |         |
|            |                                                                                                                                                                                                                             |               | R 1      | R 2       | R 3     | R 4     | R 5     |
|            | 虐待通告                                                                                                                                                                                                                        | 件数            | 64 件     | 101 件     | 77 件    | 61 件    | 44 件    |
|            |                                                                                                                                                                                                                             | 人数            | 122 人    | 163 人     | 120 人   | 107 人   | 67 人    |
|            | 相談件数                                                                                                                                                                                                                        |               | 1,715 件  | 1,982 件   | 1,905 件 | 1,722 件 | 1,875 件 |
|            | ケース検討会議開催件数                                                                                                                                                                                                                 |               | 327 回    | 258 回     | 232 回   | 373 回   | 369 回   |
|            | 教育支援委員会に諮った児童数                                                                                                                                                                                                              |               | 112 人    | 113 人     | 119 人   | 115 人   | 139 人   |
|            | レスパイト利用者数<br>(延)                                                                                                                                                                                                            | 宿泊            |          | 34 人      | 48 人    | 40 人    | 51 人    |
|            |                                                                                                                                                                                                                             | 日帰            |          | 61 人      | 87 人    | 110 人   | 82 人    |
|            | ヘルパー訪問 (延)                                                                                                                                                                                                                  | 件数            |          |           |         | 132 件   | 387 件   |
| 時間         |                                                                                                                                                                                                                             |               |          |           | 187 時間  | 271 時間  |         |
| 事業の課題及び方向性 | 【課 題】相談内容が複雑化・重篤化しています。困難な問題を抱えた家庭との関わりには、関係機関との連携に加え、携わる職員の経験や専門性、長期間の継続支援による家庭との信頼関係などが重要であり、相談支援を継承できる体制づくりが必要です。<br>【方向性】日頃の情報共有など、関係機関との連携の更なる充実を図りながら、寄せられる相談内容等に対し、的確な対応のできる体制づくりを推進します。                             |               |          |           |         |         |         |
| 自己評価       | B                                                                                                                                                                                                                           |               |          |           |         |         |         |



### (3)いじめ防止対策の推進

| 事 務 事 業    | No.1 7                                                                                                                                                                                                           | 子どもと親の相談員の配置 | R5 年度決算額 | 15,905 千円 |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|----------|-----------|
| 事業の目的      | 児童生徒やその保護者が抱える不安や、悩みの相談に当たる相談員を小中学校に配置し、児童生徒が安心して充実した学校生活を送ることができるよう支援します。必要に応じて子ども相談室、中間教室、スクールカウンセラー等と連携し、不登校、不適応傾向の児童生徒とその保護者の支援を行います。                                                                        |              |          |           |
| 事業内容       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童生徒の話し相手・悩み相談</li> <li>○ 不登校傾向の児童生徒の早期発見・早期対応（家庭訪問含む）</li> <li>○ 不登校児童生徒及び不登校児童生徒をかかえる家庭への対応等</li> <li>○ 市費による子どもと親の相談員の配置<br/>相談員 13 人を 15 校へ配置（2 校兼務 2 人）</li> </ul> |              |          |           |
| 達成状況       | <p>小学校における延べ相談件数 10,007 件<br/>(R2:5,379 件、R3:7,020 件、R4:7,657 件)</p> <p>中学校における延べ相談件数 5,607 件<br/>(R2:4,932 件、R3:4,968 件、R4:4,962 件)</p>                                                                         |              |          |           |
| 事業の課題及び方向性 | <p>【課題】不登校やいじめに発展する前の早期対応が大事であり、児童生徒やその保護者に対する相談支援体制の一層の充実が求められています。</p> <p>【方向性】必要に応じ専門機関と連携を図り適時の支援ができるよう、相談体制の充実を図ります。</p>                                                                                    |              |          |           |
| 自己評価       | B                                                                                                                                                                                                                |              |          |           |

| 事 務 事 業    | No.1 8                                                                                                                                                                                                                                                               | スクールカウンセラーの配置 | R5 年度決算額 | 2,162 千円 |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|----------|----------|
| 事業の目的      | 児童生徒、保護者及び教職員等に対し、心理的側面から専門的援助を行い、教育相談体制の充実を図ります。                                                                                                                                                                                                                    |               |          |          |
| 事業内容       | <p>スクールカウンセラーの配置 全小中学校</p> <p>・県費配置 5 人に市費による配置時間の上乗せを行い、適時の相談支援に努める。</p>                                                                                                                                                                                            |               |          |          |
| 達成状況       | <p>県から配当された相談時間では十分な対応ができないため、市費で相談時間の上乗せを行いました。</p> <p>【参考】相談件数 小学校延べ619件 (R1:514件、R2:454件、R3:539件、R4:715件)<br/>中学校延べ306件 (R1:490件、R2:415件、R3:401件、R4:299件)</p> <p>相談時間 県費 1,132時間 (R2:1,116時間、R3:1,091時間、R4:1,113時間)<br/>市費 439時間 (R2:453時間、R3:476時間、R4:463時間)</p> |               |          |          |
| 事業の課題及び方向性 | <p>【課題】不登校等、児童生徒やその保護者への早期対応が求められていますが、十分な人的配置がされているとは言えない状況にあります。</p> <p>【方向性】県の配当時間を増やすよう働きかけるとともに、市としても必要な時間について引き続き予算の確保に努めます。</p>                                                                                                                               |               |          |          |
| 自己評価       | B                                                                                                                                                                                                                                                                    |               |          |          |

## 1－4：青少年健全育成・家庭教育

青少年の健全育成に向けて、安心安全を踏まえた学童クラブの施設整備に努め共働き世帯を支援するとともに、学校、地域と連携し、青少年を育てる環境づくりを進めます。

### (1) 子どもの居場所と安心安全の確保

| 事務事業       | No.19                                                                                                                            | 少年補導委員会・少年補導センター | R5 年度決算額 | 845 千円 |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|----------|--------|
| 事業の目的      | 青少年の健全育成と非行防止を図るため、関係団体と連携を図りながら、街頭巡回などを実施します。                                                                                   |                  |          |        |
| 事業内容       | 少年補導センター及び補導委員の配置<br>・少年補導センターの運営<br>・補導委員は、55 人を 11 班に編成し、毎週土曜日に街頭巡回を実施するとともに、学校の長期休業中は特別街頭巡回を実施（巡回日数 5 日）                      |                  |          |        |
| 達成状況       | 街中で青少年の姿を接する機会は減少しており、巡回場所や巡回回数の見直しを行いつつ、実施しました。<br><b>【参考】</b> 巡回活動延べ人員 211 人 (R3:123 人、R4:74 人)<br>声かけ件数 24 件 (R3:25 件、R4:2 件) |                  |          |        |
| 事業の課題及び方向性 | <b>【課題】</b> 過疎化、高齢化などにより地区役員の選出が課題となっています。また、インターネット上でのトラブルなどの新しい問題が増えています。<br><b>【方向性】</b> 環境の変化を見ながら、引き続き、新たな活動内容について検討していきます。 |                  |          |        |
| 自己評価       | B                                                                                                                                |                  |          |        |

| 事務事業       | No.20                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 学童クラブ | R5 年度決算額 | 91,768 千円 |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----------|-----------|
| 事業の目的      | 下校後、保護者が就労などにより不在のため、適切な保護が受けられない児童の保護及び健全育成を図ります。                                                                                                                                                                                                                                      |       |          |           |
| 事業内容       | 学童クラブの設置<br>伊那小、伊那東小、伊那北小、伊那西小、富県小、新山小、美篤小、手良小、東春近小、西箕輪小、西春近北小、西春近南小、高遠小、高遠北小、長谷小の全 15 小学校に開所                                                                                                                                                                                           |       |          |           |
| 達成状況       | 利用希望者は通常学童クラブに加え、長期休業中の特別学童クラブでも増加しています。特別学童クラブでは伊那東小、東春近小の利用希望者が多かったため、小学校、公民館を活用して 2 クラブ体制で受け入れを行いました。<br>○施設整備<br>伊那東小学童クラブほかエアコン設置工事 1,804 千円<br>伊那小学童クラブカーペット購入 253 千円<br>高遠小学童クラブ除雪機購入 198 千円<br><b>【参考】</b> 登録者数 744 人 (R3:644 人、R4:725 人)<br>登録者数／児童数 22.1% (R3:18.8%、R4:21.5%) |       |          |           |
| 事業の課題及び方向性 | <b>【課題】</b> 保護者の共働き世帯の増加等に伴い、利用人数が増加しています。<br><b>【方向性】</b> 施設の老朽化・狭隘（きょうあい）施設の整備、支援員の確保などについて、学校などと連携を図りながら対応していきます。                                                                                                                                                                    |       |          |           |
| 自己評価       | B                                                                                                                                                                                                                                                                                       |       |          |           |



学童クラブの様子

## (2) 地域・関係機関との連携による家庭教育の充実

|            |                                                                                                                                                                                       |         |          |          |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|----------|----------|
| 事務事業       | No.2 1                                                                                                                                                                                | 青少年育成対策 | R5 年度決算額 | 2,609 千円 |
| 事業の目的      | 各地区子ども会・育成会などと連携し、青少年の健全育成事業を推進します。                                                                                                                                                   |         |          |          |
| 事業内容       | ○地区における青少年の健全育成活動等に対する補助<br>○有害環境のチェック活動の実施<br>○よりよい教育環境推進協議会の運営<br>○わんぱくひろばの開催<br>○情報紙「えがお」の発行                                                                                       |         |          |          |
| 達成状況       | コロナ禍以降、地区育成会の活動が再開され、健全育成活動への補助を行いました。<br>4年ぶりに第45回わんぱくひろばを開催することができました。延べ1,333人の子どもたちが新緑の自然の中で、ターザンロープなどの体験や工作を楽しみました。<br>7月と2月に有害環境チェック活動を行いました。<br>学校の活動等を紹介する情報誌「えがお」を、年8回発行しました。 |         |          |          |
| 事業の課題及び方向性 | <b>【課題】</b> 過疎化、高齢化などにより指導者や役員の選出が課題となっています。<br><b>【方向性】</b> 子ども会・育成会は、地区の青少年健全育成の中心として大きな役割を担っており、引き続き連携した活動を行っていきます。                                                                |         |          |          |
| 自己評価       | B                                                                                                                                                                                     |         |          |          |

| 事務事業       | No.2 2                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 二十歳のつどい | R5 年度決算額 | 1,269 千円 |     |    |     |     |     |           |    |     |    |       |    |     |     |       |    |    |    |       |    |    |    |       |           |    |    |    |       |           |     |    |    |       |     |    |    |       |     |    |    |       |          |     |    |    |       |          |    |    |    |       |    |  |     |     |       |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|----------|----------|-----|----|-----|-----|-----|-----------|----|-----|----|-------|----|-----|-----|-------|----|----|----|-------|----|----|----|-------|-----------|----|----|----|-------|-----------|-----|----|----|-------|-----|----|----|-------|-----|----|----|-------|----------|-----|----|----|-------|----------|----|----|----|-------|----|--|-----|-----|-------|
| 事業の目的      | 二十歳の節目を祝い、成人としての意識の高揚を図るため、式典を開催します。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |         |          |          |     |    |     |     |     |           |    |     |    |       |    |     |     |       |    |    |    |       |    |    |    |       |           |    |    |    |       |           |     |    |    |       |     |    |    |       |     |    |    |       |          |     |    |    |       |          |    |    |    |       |    |  |     |     |       |
| 事業内容       | 二十歳のつどいを公民館単位の10地区で実施<br>伊那地区 (対象：21歳に到達する者 開催 8月14日、15日)<br>高遠町地区・長谷地区 (対象：20歳に達する者 開催 1月1日、2日)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |         |          |          |     |    |     |     |     |           |    |     |    |       |    |     |     |       |    |    |    |       |    |    |    |       |           |    |    |    |       |           |     |    |    |       |     |    |    |       |     |    |    |       |          |     |    |    |       |          |    |    |    |       |    |  |     |     |       |
| 達成状況       | 伊那地区を令和5年8月14、15日に、高遠町・長谷地区を令和6年1月1、2日に開催しました。参加者は前年より増え、懐かしい恩師や仲間と出会い、笑顔があふれた機会を提供出来ました。 <table border="1" style="margin: 10px auto; width: 80%;"> <caption>令和5年度伊那市二十歳のつどい実施状況</caption> <thead> <tr> <th>開催日</th><th>会場</th><th>対象者</th><th>出席者</th><th>出席率</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">令和5年8月15日</td><td>竜西</td><td>154</td><td>95</td><td>61.7%</td></tr> <tr> <td>竜東</td><td>253</td><td>157</td><td>62.1%</td></tr> <tr> <td>富県</td><td>32</td><td>22</td><td>68.8%</td></tr> <tr> <td>美簗</td><td>64</td><td>41</td><td>64.1%</td></tr> <tr> <td>令和5年8月14日</td><td>手良</td><td>22</td><td>11</td><td>50.0%</td></tr> <tr> <td rowspan="3">令和5年8月15日</td><td>東春近</td><td>65</td><td>51</td><td>78.5%</td></tr> <tr> <td>西箕輪</td><td>94</td><td>44</td><td>46.8%</td></tr> <tr> <td>西春近</td><td>77</td><td>39</td><td>50.6%</td></tr> <tr> <td>令和6年1月2日</td><td>高遠町</td><td>58</td><td>48</td><td>82.8%</td></tr> <tr> <td>令和6年1月1日</td><td>長谷</td><td>18</td><td>16</td><td>88.9%</td></tr> <tr> <td colspan="2">合計</td><td>837</td><td>524</td><td>62.6%</td></tr> </tbody> </table> |         |          |          | 開催日 | 会場 | 対象者 | 出席者 | 出席率 | 令和5年8月15日 | 竜西 | 154 | 95 | 61.7% | 竜東 | 253 | 157 | 62.1% | 富県 | 32 | 22 | 68.8% | 美簗 | 64 | 41 | 64.1% | 令和5年8月14日 | 手良 | 22 | 11 | 50.0% | 令和5年8月15日 | 東春近 | 65 | 51 | 78.5% | 西箕輪 | 94 | 44 | 46.8% | 西春近 | 77 | 39 | 50.6% | 令和6年1月2日 | 高遠町 | 58 | 48 | 82.8% | 令和6年1月1日 | 長谷 | 18 | 16 | 88.9% | 合計 |  | 837 | 524 | 62.6% |
| 開催日        | 会場                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 対象者     | 出席者      | 出席率      |     |    |     |     |     |           |    |     |    |       |    |     |     |       |    |    |    |       |    |    |    |       |           |    |    |    |       |           |     |    |    |       |     |    |    |       |     |    |    |       |          |     |    |    |       |          |    |    |    |       |    |  |     |     |       |
| 令和5年8月15日  | 竜西                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 154     | 95       | 61.7%    |     |    |     |     |     |           |    |     |    |       |    |     |     |       |    |    |    |       |    |    |    |       |           |    |    |    |       |           |     |    |    |       |     |    |    |       |     |    |    |       |          |     |    |    |       |          |    |    |    |       |    |  |     |     |       |
|            | 竜東                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 253     | 157      | 62.1%    |     |    |     |     |     |           |    |     |    |       |    |     |     |       |    |    |    |       |    |    |    |       |           |    |    |    |       |           |     |    |    |       |     |    |    |       |     |    |    |       |          |     |    |    |       |          |    |    |    |       |    |  |     |     |       |
|            | 富県                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 32      | 22       | 68.8%    |     |    |     |     |     |           |    |     |    |       |    |     |     |       |    |    |    |       |    |    |    |       |           |    |    |    |       |           |     |    |    |       |     |    |    |       |     |    |    |       |          |     |    |    |       |          |    |    |    |       |    |  |     |     |       |
|            | 美簗                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 64      | 41       | 64.1%    |     |    |     |     |     |           |    |     |    |       |    |     |     |       |    |    |    |       |    |    |    |       |           |    |    |    |       |           |     |    |    |       |     |    |    |       |     |    |    |       |          |     |    |    |       |          |    |    |    |       |    |  |     |     |       |
| 令和5年8月14日  | 手良                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 22      | 11       | 50.0%    |     |    |     |     |     |           |    |     |    |       |    |     |     |       |    |    |    |       |    |    |    |       |           |    |    |    |       |           |     |    |    |       |     |    |    |       |     |    |    |       |          |     |    |    |       |          |    |    |    |       |    |  |     |     |       |
| 令和5年8月15日  | 東春近                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 65      | 51       | 78.5%    |     |    |     |     |     |           |    |     |    |       |    |     |     |       |    |    |    |       |    |    |    |       |           |    |    |    |       |           |     |    |    |       |     |    |    |       |     |    |    |       |          |     |    |    |       |          |    |    |    |       |    |  |     |     |       |
|            | 西箕輪                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 94      | 44       | 46.8%    |     |    |     |     |     |           |    |     |    |       |    |     |     |       |    |    |    |       |    |    |    |       |           |    |    |    |       |           |     |    |    |       |     |    |    |       |     |    |    |       |          |     |    |    |       |          |    |    |    |       |    |  |     |     |       |
|            | 西春近                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 77      | 39       | 50.6%    |     |    |     |     |     |           |    |     |    |       |    |     |     |       |    |    |    |       |    |    |    |       |           |    |    |    |       |           |     |    |    |       |     |    |    |       |     |    |    |       |          |     |    |    |       |          |    |    |    |       |    |  |     |     |       |
| 令和6年1月2日   | 高遠町                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            | 58      | 48       | 82.8%    |     |    |     |     |     |           |    |     |    |       |    |     |     |       |    |    |    |       |    |    |    |       |           |    |    |    |       |           |     |    |    |       |     |    |    |       |     |    |    |       |          |     |    |    |       |          |    |    |    |       |    |  |     |     |       |
| 令和6年1月1日   | 長谷                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 18      | 16       | 88.9%    |     |    |     |     |     |           |    |     |    |       |    |     |     |       |    |    |    |       |    |    |    |       |           |    |    |    |       |           |     |    |    |       |     |    |    |       |     |    |    |       |          |     |    |    |       |          |    |    |    |       |    |  |     |     |       |
| 合計         |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | 837     | 524      | 62.6%    |     |    |     |     |     |           |    |     |    |       |    |     |     |       |    |    |    |       |    |    |    |       |           |    |    |    |       |           |     |    |    |       |     |    |    |       |     |    |    |       |          |     |    |    |       |          |    |    |    |       |    |  |     |     |       |
| 事業の課題及び方向性 | <b>【課題】</b> 開催方法、時期について全市での開催を求める声があります。<br><b>【方向性】</b> 開催方法、時期について早期に決定していきます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |         |          |          |     |    |     |     |     |           |    |     |    |       |    |     |     |       |    |    |    |       |    |    |    |       |           |    |    |    |       |           |     |    |    |       |     |    |    |       |     |    |    |       |          |     |    |    |       |          |    |    |    |       |    |  |     |     |       |
| 自己評価       | B                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |         |          |          |     |    |     |     |     |           |    |     |    |       |    |     |     |       |    |    |    |       |    |    |    |       |           |    |    |    |       |           |     |    |    |       |     |    |    |       |     |    |    |       |          |     |    |    |       |          |    |    |    |       |    |  |     |     |       |

## 第2節 生涯にわたる学びの支援

信州大学や東京藝術大学をはじめとする教育機関等との連携を図りながら、市民一人ひとりが目的に応じて、「いつでも、どこでも、いつまでも」学ぶことができるよう、学習機会の充実と環境づくりを進めます。また、国指定史跡である高遠城跡などの有形文化財をはじめ、無形民俗文化財など地域の文化財や伝統芸能の保存・継承・活用を推進するとともに、歴史・文化・芸術の振興を図ります。

### 2-1：生涯学習

生涯学習の総合的な指針「第2次伊那市生涯学習基本構想」に基づく計画的な事業実施により、自然や文化、歴史、産業等地域の特徴を生かした生涯学習を推進し、年齢や職業を超えたあらゆる人々が興味を持って学ぶことのできる環境づくりに努めます。また、地域文化や生涯学習の拠点として、公民館の適正な維持管理に努め、施設の長寿命化を図るための施設改修等を行うほか、地域の「知の拠点・情報拠点」としての図書館の充実・活用を図るとともに、上伊那地域の図書館との連携により、利用者の利便性向上に努めます。

#### (1)生涯学習・社会教育の推進

|            |                                                                            |              |         |         |
|------------|----------------------------------------------------------------------------|--------------|---------|---------|
| 事務事業       | No.23                                                                      | 市民大学・市民大学大学院 | R5年度決算額 | 2,722千円 |
| 事業の目的      | 生涯学習における市民の機運を醸成し、学習推進のための機会を創出します。                                        |              |         |         |
| 事業内容       | 芸術文化、歴史、自然科学、健康、音楽、人権などに関する講座の開催                                           |              |         |         |
| 達成状況       | 【市民大学】様々な分野での学習探究の場として幅広く、充実した講座を開催しました。                                   |              |         |         |
|            | 令和5年度 講座内容                                                                 |              |         |         |
|            | 「JICA異文化理解セミナー」(講師：木島 史暁)                                                  |              |         |         |
|            | 「大切なのは、いたわり・愛～多様性社会を自分らしく生きる～」(講師：中山 まさとも)                                 |              |         |         |
|            | 「郷土芸能シリーズ 中川人形浄瑠璃」(講師：中川人形浄瑠璃保存会)                                          |              |         |         |
|            | 「ピンコロ体操～リンパ操体法～」(講師：城倉 通浩)                                                 |              |         |         |
|            | 「私が出会った仏さま」(講師：松井 教一)                                                      |              |         |         |
|            | 「市政よもやま話」(講師：白鳥 孝 学長)                                                      |              |         |         |
|            | 「中山不折を育んだ伊那・高遠の地」(講師：笠原 千俊 副学長)                                            |              |         |         |
|            | 「芥川龍之介の恋歌」(講師：堀井 正子)                                                       |              |         |         |
|            | 「寺社・文化財巡り 桂泉院・峰山寺」(講師：ふきのとうの会)                                             |              |         |         |
|            | 「酒造りを通して持続可能な社会を」(講師：宮島 敏)                                                 |              |         |         |
|            | 「伊那の地名考」(講師：竹松 亨) ほか13講座 計24講座                                             |              |         |         |
|            | 【参 考】第25期 後期 学生数 38人 11講座<br>第26期 前期 学生数 33人 13講座                          |              |         |         |
|            | 【市民大学大学院】市民大学の修了者を対象に、さらに学習を深めていただく専門的な学びの場として2つのコースを用意し、8期後期、9期前期を開講しました。 |              |         |         |
| 事業の課題及び方向性 | 令和5年度 研究内容                                                                 |              |         |         |
|            | 歴史コース : 「塩原とし」さん物語 伊澤修二の吃音矯正 ほか                                            |              |         |         |
|            | 自然科学コース：春日城址公園のサギたち 私の出会った鳥たち ほか                                           |              |         |         |
|            | 【参 考】第9期前期 歴史コース 2人7講座 自然科学コース 2人4講座                                       |              |         |         |
| 自己評価       | 【課 題】学生増加を目指し、充実した学習機会とすべく、受講者の学習要求を的確にとらえた魅力ある講座運営を行う必要があります。             |              |         |         |
|            | 【方向性】受講生による自主運営を基本に、魅力ある講座等を企画運営します。また、学習の成果が地域での活動に活かせるように促します。           |              |         |         |
| 自己評価       | B                                                                          |              |         |         |

|            |                                                                |        |          |        |
|------------|----------------------------------------------------------------|--------|----------|--------|
| 事務事業       | No.2 4                                                         | 高遠町桜大学 | R5 年度決算額 | 377 千円 |
| 事業の目的      | 生活にうるおいと生きがいを与え人生を心豊かに生きるため、生涯学習の場を提供します。                      |        |          |        |
| 事業内容       | 講座の開催（4月29日～11月18日 会場：高遠町総合福祉センター やますそ）                        |        |          |        |
| 達成状況       | 公民館活動のひとつとして45回目を迎えた、高遠町地域の内容を主とした伝統ある学習の場です。                  |        |          |        |
|            | 令和5年度講座内容（講師）                                                  |        |          |        |
|            | 「高遠が培った会津の義」 会津松平家14代当主 松平 保久                                  |        |          |        |
|            | 「人とつながる」 平昌五輪 スピードスケート女子金メダリスト 小平 奈緒                           |        |          |        |
|            | 「伊澤修二はなぜ日本に西洋音楽を取り入れたのか」 高遠町歴史博物館 館長 塚田 博之                     |        |          |        |
| 事業の課題及び方向性 | 『満蒙開拓』という歴史が語りかけてくるもの 満蒙開拓平和記念館 事務局長 三沢 亜紀                     |        |          |        |
|            | 【参 考】受講者数440人（R3:309人、R4:300人）                                 |        |          |        |
| 自己評価       | 【課 題】講座内容、講師など地域の特性を活かした運営が求められています。                           |        |          |        |
|            | 【方向性】高遠町地域に縁がある方、地域について研究されている方などを講師に招き、地域の特性を生かした内容を検討していきます。 |        |          |        |

|            |                                                                                                                                                                      |             |          |        |
|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|----------|--------|
| 事務事業       | No.2 5                                                                                                                                                               | 長谷地区生涯学習講演会 | R5 年度決算額 | 392 千円 |
| 事業の目的      | 地域住民の生活及び文化、教養の向上を図るため、生涯学習の場を提供します。                                                                                                                                 |             |          |        |
| 事業内容       | 講演会の開催（11月4日 会場：長谷公民館 講堂）<br>・伊那市教育委員会、長谷小中学校、小中学校PTAが主催する著名な講師を招いた講演会の開催。                                                                                           |             |          |        |
| 達成状況       | 演題：考えることは楽しい だから科学は面白い<br>（講師：柳田 理科雄さん 作家、空想科学研究所主任研究員）<br>何にでも疑問を持ち、想像力を働かせて科学的に回答を導き出すことで、心の中にある「なぜ」を解決してほしいと話し、来場者は、熱心に耳を傾けていました。<br>【参 考】聴講者数120人（R3:73人、R4:86人） |             |          |        |
| 事業の課題及び方向性 | 【課 題】貴重な機会であり、長谷地区をはじめ、より多くの市民に聴講してもらっていますが、会場や周辺駐車場のキャパシティを考慮すると定員制を設けて事前予約制とせざるを得ない状況です。<br>【方向性】過疎化や高齢化の進む地域においても住民が質の高い文化に触れられる貴重な機会として、今後も工夫しながら進めます。           |             |          |        |
| 自己評価       | B                                                                                                                                                                    |             |          |        |



長谷地区生涯学習講演会の様子





## (2) 公民館活動の推進

|            |                                                                                                                                     |            |          |          |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|----------|----------|
| 事 務 事 業    | No.2 8                                                                                                                              | 集会施設整備事業補助 | R5 年度決算額 | 9,979 千円 |
| 事業の目的      | 地域住民の福祉の向上、コミュニティの推進、災害時の拠点の確保などに資するため、集会施設等を整備する費用の一部を補助します。                                                                       |            |          |          |
| 事業内容       | 伊那市集会施設整備事業補助金交付要綱に基づき、集会施設の新築・増築・改築及び改修工事の補助金を交付します。<br>・対象施設及び交付基準<br>新築、改修工事、解体、外構 工事費の1/3以内<br>水洗化、耐震工事、LED、バリアフリー 工事費の1/2以内 等  |            |          |          |
| 達 成 状 況    | 申請のあった対象工事の経費の一部を補助しました。<br>【参 考】補助施設数 27 件 9,979 千円<br>(R3:5 件 1,822 千円、R4:5 件 1,642 千円)                                           |            |          |          |
| 事業の課題及び方向性 | 【課 題】緊急度及び市の施策に沿って、実施地区の優先順位をつける必要があります。<br>【方向性】多くの地区から予算を超える数の要望がある中で、地区と相談をしつつ優先順位をつけ、補助金交付を行いました。見送った地区は、翌年度に優先的に実施出来るよう調整しました。 |            |          |          |
| 自 己 評 価    | B                                                                                                                                   |            |          |          |

|            |                                                                                                                                                                                                                                                                        |         |          |          |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|----------|----------|
| 事 務 事 業    | No.2 9                                                                                                                                                                                                                                                                 | 公民館共同事業 | R5 年度決算額 | 6,956 千円 |
| 事業の目的      | <p>青少年の健全育成と家庭教育の充実を全市統一的に図るため、9 公民館が共同して事業を実施します。</p> <p>地域の公民館分館活動を支援するとともに、公民館活動への理解を深めてもらうための広報誌を発行します。</p>                                                                                                                                                        |         |          |          |
| 事業内容       | <p>○キッズ王国やふるさと講座の開催</p> <p>○分館活動委託事業の実施</p> <p>○「公民館報いな」の発行</p>                                                                                                                                                                                                        |         |          |          |
| 達成状況       | <p>新型コロナウイルス感染症の5類移行により、各行事を通常開催することができました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふるさと講座」 開催日 令和6年2月2日<br/>会場 美簗公民館 演題 『「美簗の歌」でふるさとを学ぶ』 講師 赤羽 仁</li> <li>・「キッズ王国」 開催日 令和6年2月29日 会場 伊那公民館 参加者 69組 89人</li> <li>・84分館に活動委託</li> <li>・館報毎月発行第535号～第546号</li> </ul> |         |          |          |
| 事業の課題及び方向性 | <p>【課 題】 地域や関係団体と連携し、充実を図る必要があります。</p> <p>【方向性】 「子どもが集う公民館」を重点テーマに、参加規模が大きな事業について、支援ボランティアの確保を進めながら公民館全体で共同事業として取り組みます。</p>                                                                                                                                            |         |          |          |
| 自己評価       | B                                                                                                                                                                                                                                                                      |         |          |          |

|         |                                                                                                                                                        |         |          |          |
|---------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|----------|----------|
| 事 務 事 業 | No.3 0                                                                                                                                                 | 公民館活動事業 | R5 年度決算額 | 4,357 千円 |
| 事業の目的   | 生涯学習を通した生きがいきづくりや地域づくりを推進するための機会を創出します。                                                                                                                |         |          |          |
| 事業内容    | 市内9公民館において、高齢者、女性、成人、青少年、家庭など様々な分野において教室・講座・イベントなどを開催すると共に、広く学習の場を提供します。                                                                               |         |          |          |
| 達成状況    | <p>新型コロナウイルス感染症の5類移行により、各地域の特色や住民要望に応えた様々な講座を通常開催することができました。</p> <p>夏休み中の小学生を対象として、居場所づくり、学習機会の充実、生活習慣の維持などを目的に、各館において『おいで塾』を行いました。 （3～5日間 498人参加）</p> |         |          |          |

|            |                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                      |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
|            | 【参 考】講座・教室・イベントなど公民館利用者数 141,524 人<br>(R3:103,645 人、R4:131,800 人)                                                                                                                                                                                                                     |                                                                      |
|            | 公民館                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 令和5年度活動内容（特徴的なもの）                                                    |
|            | 伊 那                                                                                                                                                                                                                                                                                   | らっこルーム、女性教室、伊那おやじの会、市民ガーデニング講座、楽しい切り絵教室、小学生将棋教室、分館対抗マレット大会など         |
|            | 富 県                                                                                                                                                                                                                                                                                   | トムキャロット、のどか学級、よろず講座、俳句教室、うたの教室、古文書を読む、富県麻雀教室、星空観察会など                 |
|            | 美 篤                                                                                                                                                                                                                                                                                   | 子育て広場、女性教室、親子青空教室、「芽と実」読み聞かせ、童謡・唱歌の集い、健康マージャン教室、ランニング教室など            |
|            | 手 良                                                                                                                                                                                                                                                                                   | わいわいくらぶ、おいさんずくらぶ、四ツ葉の集い、手良の歴史講座、水彩アート教室、茶道教室、ゴルフ教室など                 |
|            | 東春近                                                                                                                                                                                                                                                                                   | くれよんクラブ、女性教室、楽生学級、チャレンジおっとこ塾、童謡唱歌を楽しむ会、楽しい音読教室など                     |
|            | 西箕輪                                                                                                                                                                                                                                                                                   | わんぱく親子塾、料理教室、陶芸教室、歴史講座、里山ハイキング、通学学習、お仕事体験会など                         |
|            | 西春近                                                                                                                                                                                                                                                                                   | かるがも学級、かるがもベビー、女論の会、万年青の会、父居屋の会、健康麻雀教室、西春近歴史学習会など                    |
|            | 高 遠                                                                                                                                                                                                                                                                                   | さくらんぼキッズ、おいさんずくらぶ、桜大学講座、そば打ち講座、石仏講座、コーヒー道へようこそ、和スイーツを味わうゆうべ、各種球技大会など |
|            | 長 谷                                                                                                                                                                                                                                                                                   | くじらくらぶ、遊山倶楽部、入野谷講座、うたのラウンジ、ソフトテニス教室など                                |
| 事業の課題及び方向性 | <p>【課 題】ニーズの高い事業を把握し、実施することや公民館活動を通して、生涯学習と地域づくりを進める必要があります。</p> <p>【方向性】伊那市公民館運営協議会活動基本方針に沿って各事業を実施します。</p> <p>(1) まなぶ…いつでも、どこでも、だれもが学ぶことができ、学び合い、育ち合い、高めあう機会と場を提供します。</p> <p>(2) つなぐ…出会い、ふれあい、交わりを大切に、仲間づくりと地域の交流を進めます。</p> <p>(3) つくる…地域課題に取り組み、生き生きとした地域づくりと地域文化の伝承と創造を目指します。</p> |                                                                      |
| 自己評価       | B                                                                                                                                                                                                                                                                                     |                                                                      |



公民館講座の様子

### (3) 図書館の充実

| 事務事業       | No.3 1                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 蔵書管理                 | R5 年度決算額           | 13,008 千円          |     |      |      |          |      |       |                      |                      |                    |                    |        |                    |                    |                  |                  |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|--------------------|--------------------|-----|------|------|----------|------|-------|----------------------|----------------------|--------------------|--------------------|--------|--------------------|--------------------|------------------|------------------|
| 事業の目的      | 市民が自主的な学習を行う「知の拠点」となるため、図書や情報資料の提供の充実を図ります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                      |                    |                    |     |      |      |          |      |       |                      |                      |                    |                    |        |                    |                    |                  |                  |
| 事業内容       | ○伊那図書館、高遠町図書館の運営管理<br>○図書館資料の管理（選書、発注、装備・登録・修理、除籍）<br>○図書館システムの維持・管理<br>○学習の場の提供                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                      |                    |                    |     |      |      |          |      |       |                      |                      |                    |                    |        |                    |                    |                  |                  |
| 達成状況       | ・図書データのより適正な保守管理、運用に努めました。<br>・諸資料の購入・整備、利用者への貸出・閲覧を行いました。<br>・資料を有効活用するため、テーマ展示を定期的に行いました。<br><b>【参考】</b> 蔵書数は図書のみ、( ) 内 R4 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th><th>蔵書冊数</th><th>貸出冊数</th><th>登録者数（個人）</th><th>利用者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>伊那図書館</td><td>222,000<br/>(220,540)</td><td>309,613<br/>(298,943)</td><td>57,139<br/>(56,319)</td><td>60,376<br/>(58,412)</td></tr> <tr> <td>高遠町図書館</td><td>85,773<br/>(88,190)</td><td>37,623<br/>(38,922)</td><td>4,671<br/>(4,623)</td><td>7,354<br/>(7,541)</td></tr> </tbody> </table> |                      |                    |                    | 名 称 | 蔵書冊数 | 貸出冊数 | 登録者数（個人） | 利用者数 | 伊那図書館 | 222,000<br>(220,540) | 309,613<br>(298,943) | 57,139<br>(56,319) | 60,376<br>(58,412) | 高遠町図書館 | 85,773<br>(88,190) | 37,623<br>(38,922) | 4,671<br>(4,623) | 7,354<br>(7,541) |
| 名 称        | 蔵書冊数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 貸出冊数                 | 登録者数（個人）           | 利用者数               |     |      |      |          |      |       |                      |                      |                    |                    |        |                    |                    |                  |                  |
| 伊那図書館      | 222,000<br>(220,540)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 309,613<br>(298,943) | 57,139<br>(56,319) | 60,376<br>(58,412) |     |      |      |          |      |       |                      |                      |                    |                    |        |                    |                    |                  |                  |
| 高遠町図書館     | 85,773<br>(88,190)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 37,623<br>(38,922)   | 4,671<br>(4,623)   | 7,354<br>(7,541)   |     |      |      |          |      |       |                      |                      |                    |                    |        |                    |                    |                  |                  |
| 事業の課題及び方向性 | <b>【課題】</b> 多様化する市民の知的ニーズに応えるとともに、図書や図書館を取り巻く社会状況の変化に対応していく必要があります。<br><b>【方向性】</b> 地域の情報・学習センターとしての役割を果たすため、資料の収集や情報提供を積極的に行います。また、イベントなどを通して、親しみやすい図書館になるよう努めます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                      |                    |                    |     |      |      |          |      |       |                      |                      |                    |                    |        |                    |                    |                  |                  |
| 自己評価       | B                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |                      |                    |                    |     |      |      |          |      |       |                      |                      |                    |                    |        |                    |                    |                  |                  |

| 事務事業       | No.3 2                                                                                                                                                                                                                              | 図書館イベント | R5 年度決算額 | 226 千円 |
|------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|----------|--------|
| 事業の目的      | 幅広い世代が「実感・体感」を伴った知の獲得と創造する営みの楽しさを得るため、各種イベントを開催するとともに、ボランティアなどの人材育成を推進します。                                                                                                                                                          |         |          |        |
| 事業内容       | ○おはなしのひろばの開催（職員、ボランティアによる読み聞かせ）<br>○ブックスタートの実施（乳児へ絵本のプレゼント）<br>○各種講座 児童対象：おはなしのひろば、おりがみ教室、工作教室など<br>一般対象：絵本講座など<br>○利用者団体への支援                                                                                                       |         |          |        |
| 達成状況       | 新型コロナウイルス感染症の5類移行により、各種イベントや講座を再開しました。市民に親しみやすい図書館が定着しています。<br>健康推進課と連携し、乳児へ本のプレゼントを行いました。（ブックスタート事業）<br><b>【参考】</b> ブックスタート 381 冊（R3:363 冊、R4:431 冊）<br>イベント 4,792 人（R3:1,403 人、R4:3,174 人）<br>広域情報コーナー利用 14 団体（R3:13 団体、R4:19 団体） |         |          |        |
| 事業の課題及び方向性 | <b>【課題】</b> 市民に身近な図書館となるために、市民との協働による図書館運営を図ると共に、幅広い年齢層を対象とした企画運営を行っていく必要があります。<br><b>【方向性】</b> 市民と協働しながら、イベントや講座など魅力ある図書館運営を進めます。                                                                                                  |         |          |        |
| 自己評価       | B                                                                                                                                                                                                                                   |         |          |        |



図書館イベントの様子

| 事務事業       | No.3 3                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 図書館分館                | R5 年度決算額         | 5,063 千円           |     |      |      |        |      |     |                    |                    |                  |                  |     |                    |                    |              |                  |     |                    |                    |              |                  |     |                    |                  |              |              |     |                    |                    |                |                  |     |                  |                    |              |                  |     |                  |                  |            |                  |     |                    |                      |                  |                    |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|------------------|--------------------|-----|------|------|--------|------|-----|--------------------|--------------------|------------------|------------------|-----|--------------------|--------------------|--------------|------------------|-----|--------------------|--------------------|--------------|------------------|-----|--------------------|------------------|--------------|--------------|-----|--------------------|--------------------|----------------|------------------|-----|------------------|--------------------|--------------|------------------|-----|------------------|------------------|------------|------------------|-----|--------------------|----------------------|------------------|--------------------|
| 事業の目的      | 地区住民の図書館利用の利便を図るため、地区公民館に図書室を設置し、図書や情報資料の提供の充実を図ります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                      |                  |                    |     |      |      |        |      |     |                    |                    |                  |                  |     |                    |                    |              |                  |     |                    |                    |              |                  |     |                    |                  |              |              |     |                    |                    |                |                  |     |                  |                    |              |                  |     |                  |                  |            |                  |     |                    |                      |                  |                    |
| 事業内容       | ○図書館分館（公民館図書室）の運営と管理<br>○西春近公民館図書室の充実<br>○学習の場の提供                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                      |                  |                    |     |      |      |        |      |     |                    |                    |                  |                  |     |                    |                    |              |                  |     |                    |                    |              |                  |     |                    |                  |              |              |     |                    |                    |                |                  |     |                  |                    |              |                  |     |                  |                  |            |                  |     |                    |                      |                  |                    |
| 達成状況       | <p>各公民館図書室の諸資料の購入整備及び利用者への閲覧・貸出等の管理・運営を行いました。西春近公民館図書室の蔵書充実と周知に努めました。</p> <p>【参 考】 蔵書数は図書のみ、（ ）内 R4</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名 称</th><th>蔵書冊数</th><th>貸出冊数</th><th>個人登録者数</th><th>利用者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東春近</td><td>19,682<br/>(19,311)</td><td>22,515<br/>(23,829)</td><td>1,446<br/>(1,428)</td><td>3,381<br/>(3,590)</td></tr> <tr> <td>富 県</td><td>15,125<br/>(14,996)</td><td>12,764<br/>(14,160)</td><td>794<br/>(785)</td><td>2,287<br/>(2,584)</td></tr> <tr> <td>手 良</td><td>14,247<br/>(13,862)</td><td>19,719<br/>(17,040)</td><td>515<br/>(504)</td><td>3,101<br/>(3,317)</td></tr> <tr> <td>長 谷</td><td>12,032<br/>(12,060)</td><td>3,359<br/>(4,417)</td><td>214<br/>(211)</td><td>658<br/>(958)</td></tr> <tr> <td>美 簫</td><td>17,599<br/>(17,541)</td><td>24,801<br/>(20,876)</td><td>1,007<br/>(974)</td><td>3,692<br/>(2,834)</td></tr> <tr> <td>西箕輪</td><td>8,523<br/>(8,053)</td><td>16,425<br/>(17,503)</td><td>479<br/>(462)</td><td>3,211<br/>(3,371)</td></tr> <tr> <td>西春近</td><td>4,781<br/>(4,113)</td><td>7,399<br/>(8,506)</td><td>40<br/>(29)</td><td>1,396<br/>(1,501)</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>91,989<br/>(89,936)</td><td>106,982<br/>(106,331)</td><td>4,495<br/>(4,393)</td><td>17,726<br/>(18,155)</td></tr> </tbody> </table> <p>・施設利用率（各地区利用者数／分館設置地区の人口）61.6%（59.2%）</p> |                      |                  |                    | 名 称 | 蔵書冊数 | 貸出冊数 | 個人登録者数 | 利用者数 | 東春近 | 19,682<br>(19,311) | 22,515<br>(23,829) | 1,446<br>(1,428) | 3,381<br>(3,590) | 富 県 | 15,125<br>(14,996) | 12,764<br>(14,160) | 794<br>(785) | 2,287<br>(2,584) | 手 良 | 14,247<br>(13,862) | 19,719<br>(17,040) | 515<br>(504) | 3,101<br>(3,317) | 長 谷 | 12,032<br>(12,060) | 3,359<br>(4,417) | 214<br>(211) | 658<br>(958) | 美 簫 | 17,599<br>(17,541) | 24,801<br>(20,876) | 1,007<br>(974) | 3,692<br>(2,834) | 西箕輪 | 8,523<br>(8,053) | 16,425<br>(17,503) | 479<br>(462) | 3,211<br>(3,371) | 西春近 | 4,781<br>(4,113) | 7,399<br>(8,506) | 40<br>(29) | 1,396<br>(1,501) | 合 計 | 91,989<br>(89,936) | 106,982<br>(106,331) | 4,495<br>(4,393) | 17,726<br>(18,155) |
| 名 称        | 蔵書冊数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 貸出冊数                 | 個人登録者数           | 利用者数               |     |      |      |        |      |     |                    |                    |                  |                  |     |                    |                    |              |                  |     |                    |                    |              |                  |     |                    |                  |              |              |     |                    |                    |                |                  |     |                  |                    |              |                  |     |                  |                  |            |                  |     |                    |                      |                  |                    |
| 東春近        | 19,682<br>(19,311)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 22,515<br>(23,829)   | 1,446<br>(1,428) | 3,381<br>(3,590)   |     |      |      |        |      |     |                    |                    |                  |                  |     |                    |                    |              |                  |     |                    |                    |              |                  |     |                    |                  |              |              |     |                    |                    |                |                  |     |                  |                    |              |                  |     |                  |                  |            |                  |     |                    |                      |                  |                    |
| 富 県        | 15,125<br>(14,996)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 12,764<br>(14,160)   | 794<br>(785)     | 2,287<br>(2,584)   |     |      |      |        |      |     |                    |                    |                  |                  |     |                    |                    |              |                  |     |                    |                    |              |                  |     |                    |                  |              |              |     |                    |                    |                |                  |     |                  |                    |              |                  |     |                  |                  |            |                  |     |                    |                      |                  |                    |
| 手 良        | 14,247<br>(13,862)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 19,719<br>(17,040)   | 515<br>(504)     | 3,101<br>(3,317)   |     |      |      |        |      |     |                    |                    |                  |                  |     |                    |                    |              |                  |     |                    |                    |              |                  |     |                    |                  |              |              |     |                    |                    |                |                  |     |                  |                    |              |                  |     |                  |                  |            |                  |     |                    |                      |                  |                    |
| 長 谷        | 12,032<br>(12,060)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 3,359<br>(4,417)     | 214<br>(211)     | 658<br>(958)       |     |      |      |        |      |     |                    |                    |                  |                  |     |                    |                    |              |                  |     |                    |                    |              |                  |     |                    |                  |              |              |     |                    |                    |                |                  |     |                  |                    |              |                  |     |                  |                  |            |                  |     |                    |                      |                  |                    |
| 美 簫        | 17,599<br>(17,541)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 24,801<br>(20,876)   | 1,007<br>(974)   | 3,692<br>(2,834)   |     |      |      |        |      |     |                    |                    |                  |                  |     |                    |                    |              |                  |     |                    |                    |              |                  |     |                    |                  |              |              |     |                    |                    |                |                  |     |                  |                    |              |                  |     |                  |                  |            |                  |     |                    |                      |                  |                    |
| 西箕輪        | 8,523<br>(8,053)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 16,425<br>(17,503)   | 479<br>(462)     | 3,211<br>(3,371)   |     |      |      |        |      |     |                    |                    |                  |                  |     |                    |                    |              |                  |     |                    |                    |              |                  |     |                    |                  |              |              |     |                    |                    |                |                  |     |                  |                    |              |                  |     |                  |                  |            |                  |     |                    |                      |                  |                    |
| 西春近        | 4,781<br>(4,113)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 7,399<br>(8,506)     | 40<br>(29)       | 1,396<br>(1,501)   |     |      |      |        |      |     |                    |                    |                  |                  |     |                    |                    |              |                  |     |                    |                    |              |                  |     |                    |                  |              |              |     |                    |                    |                |                  |     |                  |                    |              |                  |     |                  |                  |            |                  |     |                    |                      |                  |                    |
| 合 計        | 91,989<br>(89,936)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 106,982<br>(106,331) | 4,495<br>(4,393) | 17,726<br>(18,155) |     |      |      |        |      |     |                    |                    |                  |                  |     |                    |                    |              |                  |     |                    |                    |              |                  |     |                    |                  |              |              |     |                    |                    |                |                  |     |                  |                    |              |                  |     |                  |                  |            |                  |     |                    |                      |                  |                    |
| 事業の課題及び方向性 | <p>【課 題】より身近な地域の図書館として、子どもから高齢者までの利用者の利便を図る必要があります。</p> <p>【方向性】より身近に感じていただける図書館サービスについて検討を進めます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                      |                  |                    |     |      |      |        |      |     |                    |                    |                  |                  |     |                    |                    |              |                  |     |                    |                    |              |                  |     |                    |                  |              |              |     |                    |                    |                |                  |     |                  |                    |              |                  |     |                  |                  |            |                  |     |                    |                      |                  |                    |
| 自己評価       | B                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                      |                  |                    |     |      |      |        |      |     |                    |                    |                  |                  |     |                    |                    |              |                  |     |                    |                    |              |                  |     |                    |                  |              |              |     |                    |                    |                |                  |     |                  |                    |              |                  |     |                  |                  |            |                  |     |                    |                      |                  |                    |



## 2-2：文化・芸術

多様な文化芸術や伝統芸能などの保存団体の育成を推進するとともに、意識の高揚などを通じて、市民の文化芸術活動の振興を図るとともに、新しい文化の創造を推進します。

歴史資料や美術工芸品、建造物などの文化財は、市民等の学習・研究及び地域の活性化に生かすため、適切な保存管理と有効活用を図ります。また、多様な学習ニーズに対応するため、地域の学習拠点となる各施設の充実に努めます。

### (1) 文化芸術の振興と地域文化の育成

| 事 務 事 業    | No.3 4                                                                                                                                                                                                                                  | 進徳館の日 | R5 年度決算額 | 236 千円 |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----------|--------|
| 事業の目的      | 進徳館教育から先人の遺訓を学び、その精神を現代に活かして歴史と文化のまち伊那市へ一層の発展を図ります。                                                                                                                                                                                     |       |          |        |
| 事業内容       | ○式典、基調講演、学習発表など（5月27日 会場：進徳館、高遠閣）<br>○剣道大会（会場：高遠町文化体育館）                                                                                                                                                                                 |       |          |        |
| 達成状況       | 実学重視の藩校「進徳館」の学びの心に触れ、藩校教育の伝統や精神を継承し、地域の生涯学習の振興を図る事業として地域に定着しています。また、旧高遠藩主をはじめ、藩関係者との交流の機会ともなっています。<br>【参考】<br>○第29回進徳館の日<br>・五聖像に礼拝、式典、基調講話、記念講演<br>参加人数 130人（R3:80人、R4:120人）<br>○第25回進徳館の日記念少年剣道大会<br>参加チーム数 16(72人)（R3:中止、R4:13(51人)） |       |          |        |
| 事業の課題及び方向性 | 【課題】藩校「進徳館」の藩校教育の伝統や精神を継承し、その精神を現代に生かした事業を行う必要があります。<br>【方向性】進徳館教育の精神や優れた点を学び、現代社会に対応する方策を創造すると共に、広くPRすることによりこの事業の活用と充実に努めます。                                                                                                           |       |          |        |
| 自己評価       | B                                                                                                                                                                                                                                       |       |          |        |

### (2) 文化財の保存・継承・活用

| 事 務 事 業    | No.3 5                                                                          | 史跡高遠城跡 | R5 年度決算額 | 2,974 千円 |
|------------|---------------------------------------------------------------------------------|--------|----------|----------|
| 事業の目的      | 伊那市の歴史財産である城跡の価値を損なうことなく次世代へ受け継ぎ、だれもが地域の歴史や文化を学ぶことができる環境づくりを進めるため、史跡の保存整備を行います。 |        |          |          |
| 事業内容       | ○公有地化<br>○史跡高遠城跡保存活用計画策定に向けた体制整備                                                |        |          |          |
| 達成状況       | ○史跡内民有地の公有地化<br>○策定委員会要綱の制定。庁内検討委員会開催（1回）                                       |        |          |          |
| 事業の課題及び方向性 | 【課題】整備実施計画（H17～）の更新が必要です。<br>【方向性】法に基づく史跡高遠城跡保存活用計画を策定します。                      |        |          |          |
| 自己評価       | B                                                                               |        |          |          |



「商家栄昌」（市指定文化財『高藩探勝』中巻）



「郭上鶴」（市指定文化財『高藩探勝』下巻）

|            |                                                                                                      |                                                                                                                       |          |          |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|----------|
| 事 務 事 業    | No.3 6                                                                                               | 民俗資料館                                                                                                                 | R5 年度決算額 | 3,721 千円 |
| 事業の目的      | 民俗資料を継承するため、資料を収集・保管・整理・展示するとともに、体験できる施設として「高遠なつかし館」を、歴史的建造物の「旧馬島家」、「旧池上家」を企画・運営します。                 |                                                                                                                       |          |          |
| 事業内容       | ○高遠なつかし館、旧馬島家、旧池上家の企画運営                                                                              |                                                                                                                       |          |          |
|            | 施設名                                                                                                  | 内 容 等                                                                                                                 |          |          |
|            | 高遠なつかし館                                                                                              | 住民から集めた昔懐かしい農具や生活用品などを展示しています。機織りや縄ない、蓄音機、足踏みオルガンなどの体験ができます。高遠藩医を勤めた馬島家に関する資料も展示しています。                                |          |          |
|            | 旧馬島家<br>(県宝)                                                                                         | 江戸時代に高遠藩の眼科医を勤めた馬島家の住宅です。本棟造りの建物で、後世の改造が少なく、建造当初（天保7年（1836）頃）の形式を残しており、高遠藩当時の規模の大きな住宅の間取りを良く示しています。馬島家に関する資料も展示しています。 |          |          |
|            | 旧池上家<br>(市指定文化財)                                                                                     | 豪壮な歴史の重さを感じる建物で、間口5間、奥行9間の町屋造り板葺きの住宅です。町屋造りの家屋としては町内で最も古く、多くの古文書が所蔵されています。池上家は、高遠城下で醤油や酢の自家醸造や販売を営みながら、代々町の重職を務めました。  |          |          |
|            | ○特別企画展示の開催（年2回）                                                                                      |                                                                                                                       |          |          |
| 達成状況       | ○企画展                                                                                                 |                                                                                                                       |          |          |
|            | 「ひな人形展」2月11日～4月23日 58日開催 3,716人                                                                      |                                                                                                                       |          |          |
|            | 「五月人形展」4月29日～6月18日 34日開催 629人                                                                        |                                                                                                                       |          |          |
|            | ○講座・体験イベント                                                                                           |                                                                                                                       |          |          |
|            | 向山雅重の世界（11月26日）                                                                                      |                                                                                                                       | 参加者      | 16人      |
|            | 布草履教室（7月2日、9日）                                                                                       |                                                                                                                       | 参加者      | 24人      |
|            | 親子でナイトミュージアム in 民俗資料館（9月30日）                                                                         |                                                                                                                       | 参加者      | 33人      |
|            | もみじ祭り 秋のお茶会（10月29日）                                                                                  |                                                                                                                       | 参加者      | 20人      |
|            | しめ縄教室（12月10日）                                                                                        |                                                                                                                       | 参加者      | 15人      |
|            | わら細工教室（1月14日、21日）                                                                                    |                                                                                                                       | 参加者      | 26人      |
| 事業の課題及び方向性 | お雛祭り 春のお茶会（3月3日）                                                                                     |                                                                                                                       | 参加者      | 34人      |
|            | 【参 考】年間入館者数5,138人（R3：3,994人、R4：5,931人）                                                               |                                                                                                                       |          |          |
|            | 【課 題】年間来館者が少なく、効率良く運営するための検討を行う必要があります。<br>【方向性】効率の良い運営方法の検討に併せ、新たな企画展、体験講座などを実施しながら、集客できる施設運営に努めます。 |                                                                                                                       |          |          |
| 自己評価       | B                                                                                                    |                                                                                                                       |          |          |



ナイトミュージアムの様子（県宝旧馬島家住宅）



市指定文化財旧池上家住宅



|            |                                                                                                                                    |        |          |          |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|----------|----------|
| 事務事業       | No.37                                                                                                                              | 旧井澤家住宅 | R5 年度決算額 | 3,121 千円 |
| 事業の目的      | 伊那街道伊那部宿の宿内で唯一の本棟造で最古の建物を保存するとともに、一般公開し活用を図ります。                                                                                    |        |          |          |
| 事業内容       | ○管理・運営を、指定管理者制度により「伊那部宿を考える会」に委託<br>○一般公開                                                                                          |        |          |          |
| 達成状況       | ○一般公開を行いました。<br>○「鯉幟の掲揚」「ひな祭り」「各種団体見学会（八十二文化財団等）」「管理部によるイベント」などの行事を行いました。<br>【参考】入館者数 1,133 人（R3:290 人、R4:496 人）                   |        |          |          |
| 事業の課題及び方向性 | 【課題】地元の歴史的施設として有効に活用するとともに、周辺施設とも関連させながら、常に魅力ある運営を継続して進める必要があります。<br>【方向性】地元の伊那部宿の貴重な歴史資料を生かし、多くの来館者を誘客できる施設となるよう指定管理者と連携しながら進めます。 |        |          |          |
| 自己評価       | B                                                                                                                                  |        |          |          |

|            |                                                                                                                                                                 |         |          |      |
|------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|----------|------|
| 事務事業       | No.38                                                                                                                                                           | 民俗文化の伝承 | R5 年度決算額 | 0 千円 |
| 事業の目的      | 「山寺のやきもち踊り」や「中尾歌舞伎」、「高遠囃子」などの民俗文化を継承する活動を支援します。                                                                                                                 |         |          |      |
| 事業内容       | 民俗文化の継承を図るため、国・県・市の補助・助成制度を活用した支援を行います。                                                                                                                         |         |          |      |
| 達成状況       | ○伝統文化親子教室事業（文化庁）を活用（6 団体）<br>前年度活用団体や、生涯学習課で後援を行った団体等の中で、親子で伝統文化に触れる活動を行っているなど補助金の趣旨に沿った活動を行っている団体に当該補助金の紹介をし、応募のあった 6 団体に、申請の支援及び取りまとめを行い、県教委を通じて文化庁に申請を行いました。 |         |          |      |
| 事業の課題及び方向性 | 【課題】人口減少・少子高齢化が進み地域の活力が乏しくなる中、住民自らが地域の民俗文化の伝承意識を持ち、継続的また長期的に活動できる体制づくりが必要です。<br>【方向性】有利な財源を活用しながら、伝承における人材発掘と育成を進めます。                                           |         |          |      |
| 自己評価       | B                                                                                                                                                               |         |          |      |



中尾歌舞伎（市指定無形民俗文化財）R5 特別公演



高遠囃子（市指定無形文化財）

| 事 務 事 業    | No.3 9                                                                                                                                                     | 市誌編さん | R5 年度決算額 | 14,905 千円 |
|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|----------|-----------|
| 事業の目的      | 伊那市の変遷を顧み、市民の郷土に対する関心と愛情を深め、将来の伊那市の発展に資する『伊那市誌』を編さんする。                                                                                                     |       |          |           |
| 事業内容       | ○伊那市誌編さん委員会の開催<br>○9部会（概説、自然、政治行政、産業経済、社会、教育、文化、民俗、年表）の開催<br>○市誌編さんに必要な資料の収集、編さん作業<br>○編さん業務の一部委託<br>○編さん室会議室、資料整理室エアコン設置工事<br>○編さん事業の広報（市報掲載、広報紙の発行、広報番組） |       |          |           |
| 達成状況       | ○伊那市誌編さん委員会（委員20名）（4回）、部会（65回）を開催し、編さん分野や編さん項目の検討を行いました。<br>○令和8年3月末刊行予定の4冊について編さん業務の一部を委託し、作成冊子の組見本・執筆マニュアルの作成を行いました。                                     |       |          |           |
| 事業の課題及び方向性 | <b>【課題】</b> 地域史研究者の高齢化や減少、地域資料への無関心化による個人所有の歴史資料の散逸を防ぎ、保全していくことが求められています。<br><b>【方向性】</b> 公文書や博物館等所蔵資料を含めた地域資料を、地域の資源として保全しアーカイブ化により活用できるよう検討を進めていきます。     |       |          |           |
| 自己評価       | B                                                                                                                                                          |       |          |           |



市誌編さん室

広報紙「いなしる」



### (3) 文化芸術施設の充実及び活用

|         |                                                                                                                     |                                                     |                 |           |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|-----------------|-----------|
| 事 務 事 業 | No.4 O                                                                                                              | 創造館                                                 | R5 年度決算額        | 41,734 千円 |
| 事業の目的   | 市民の生涯学習の場及び憩いの場として、施設の管理運営を行い、「縄文から宇宙まで」をテーマに自然科学、宇宙、考古、歴史・民俗、芸術、環境などに関する独創的な事業を実施し、夢多き未来に向かって人類の進化の礎である「創造」を実践します。 |                                                     |                 |           |
| 事 業 内 容 | ○ 常設展示                                                                                                              |                                                     |                 |           |
|         | 展 示 場 所                                                                                                             | 展 示 内 容                                             |                 |           |
|         | 常設展示室                                                                                                               | 「神子柴遺跡出土石器群」、「顔面付釣手形土器」などの考古資料                      |                 |           |
|         | 井月展示室                                                                                                               | 井月顕彰会から寄託を受けた井月の短冊や扇子、柱掛けなど                         |                 |           |
|         | 地質展示室                                                                                                               | 岩石の標本やアンモナイトやカキの化石など                                |                 |           |
|         | 昭和の図書館                                                                                                              | 上伊那図書館時代の書籍、教育会資料など                                 |                 |           |
|         | ○ 企画展、特別展、講演会、講座等の開催                                                                                                |                                                     |                 |           |
|         | ○ その他 資料の保管及び貸館業務（学習室、体験学習室1、体験学習室2、講堂）                                                                             |                                                     |                 |           |
| 達 成 状 況 | 【講演会】 昆虫食映画上映会&シンポジウム 参加者 40 人                                                                                      |                                                     |                 |           |
|         | 企画展「中尾歌舞伎」関連映画「Beauty」上映会                                                                                           |                                                     |                 | 参加者 26 人  |
|         | 「関東大震災後 100 年 地震と防災～宇宙から見た発光現象」                                                                                     |                                                     |                 | 参加者 19 人  |
|         | シンポジウム「ざざ虫の未来を語ろう。」                                                                                                 |                                                     |                 | 参加者 48 人  |
|         | 【講座等】 宇宙の学校（5回）、地球の学校（5回）、夏の体験教室、秋冬の体験教室、学校単位での見学受け入れ、自主制作映画祭 ざざむし漁見学会、16mmフィルム上映（聖職の碑）、延べ参加者 605 人                 |                                                     |                 |           |
|         | 【企画展・特別展展示】 延べ観覧者 6,199 人                                                                                           |                                                     |                 |           |
|         | 第 29 回企画展「中尾歌舞伎」                                                                                                    |                                                     | （3月25日～6月26日）   |           |
|         | 第 30 回企画展「伊那まち・1966」                                                                                                |                                                     | （8月26日～12月25日）  |           |
|         | 特別展 「森に眠る古墳群」                                                                                                       |                                                     | （7月1日～10月2日）    |           |
|         | 特別展 上伊那教育会収蔵作品展                                                                                                     |                                                     | （11月11日～11月26日） |           |
|         | 特別展 「井月新句・類句特別展示」                                                                                                   |                                                     | （1月27日～5月13日）   |           |
|         | 特別展 「造形クラブ作品展」                                                                                                      |                                                     | （2月3日～2月26日）    |           |
|         | 特別展 「信州伊那谷 昆虫食博 おかわり」                                                                                               |                                                     | （4月1日～3月31日）    |           |
|         | 【貸 館】 延利用者 11,646 人（R3：10,491 人、R4：9,003 人）                                                                         |                                                     |                 |           |
|         | 【参 考】 開館日数 305 日、利用者数 25,375 人（R3：21,618 人、R4：20,826 人）                                                             |                                                     |                 |           |
|         | 事業の課題及び方向性                                                                                                          | 【課 題】 他の社会教育施設との事業内容の棲み分けを図るとともに、連携・協働を推進する必要があります。 |                 |           |
|         | 【方向性】 未来を担う子どもが興味を持つ企画や、ユニークで魅力ある事業を実践するとともに、学習と交流の拠点施設として、利用しやすい施設の運営に努めます。                                        |                                                     |                 |           |
| 自己評価    | B                                                                                                                   |                                                     |                 |           |



伊那市創造館



地球の学校 2023 の様子

|                                           |                                                                                                             |                                                                                           |          |           |
|-------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|----------|-----------|
| 事 務 事 業                                   | No.4 1                                                                                                      | 高遠町歴史博物館                                                                                  | R5 年度決算額 | 26,816 千円 |
| 事業の目的                                     | 市民の歴史文化に係る学習と教養の向上を図るため、地域の歴史と文化に関する資料を収集、保管、展示しつつ、各種イベントの実施により、歴史に親しむ機会を創出します。                             |                                                                                           |          |           |
| 事業内容                                      | ○常設展示                                                                                                       |                                                                                           |          |           |
|                                           | 展示場所                                                                                                        | 展 示 内 容                                                                                   |          |           |
|                                           | 桜シアター                                                                                                       | 高遠城址公園に咲く桜映像 高遠城の戦いVR体験                                                                   |          |           |
|                                           | 山車展示室                                                                                                       | 貴船社・仲町の山車、鉾持神社の祭礼の衣装、金比羅神社の幟など高遠の祭に関係するもの                                                 |          |           |
|                                           | 第1展示室                                                                                                       | 守屋貞治延命地蔵 高遠で発掘された埋蔵文化財<br>高遠藩主内藤家の調度品、奉納武具や、高遠藩ゆかりの武器・武具<br>高遠城のジオラマや絵図、合戦図屏風などの高遠城関係資料 等 |          |           |
|                                           | 第2展示室                                                                                                       | 藩校進徳館と「高遠の学」<br>阪本天山、伊澤修二、伊澤多喜男、中村弥六など地域の先人たち                                             |          |           |
|                                           | 第3展示室                                                                                                       | 中村不折の書画、池上秀畝の絵画<br>中馬・杣・石工の道具、石仏師守屋貞治、高遠焼、駕籠 等                                            |          |           |
|                                           | 絵島囲み屋敷                                                                                                      | 江戸時代大奥で6代将軍家宣の側室月光院に仕えた絵島が、将軍家の墓参の帰路、芝居見物をして帰城が遅れ、公務をおろそかにしたとして罪に問われ、高遠へ遠流となった当時の復原屋敷を展示  |          |           |
| ○特別展、講座の開催                                |                                                                                                             |                                                                                           |          |           |
| 達成状況                                      | 【特別展】                                                                                                       |                                                                                           |          |           |
|                                           | 第78回特別展 伊那のお寺と仏教文化 (2月25日～6月18日)                                                                            |                                                                                           |          |           |
|                                           | 第79回特別展 出征兵士と家族の肖像展 (7月15日～8月20日)                                                                           |                                                                                           |          |           |
|                                           | 第80回特別展 高遠城のお稲荷さん (9月9日～12月10日)                                                                             |                                                                                           |          |           |
|                                           | 第81回特別展 上伊那郡市小中学生新聞展 (10月21日～11月12日)                                                                        |                                                                                           |          |           |
|                                           | 【講 座】                                                                                                       |                                                                                           |          |           |
|                                           | 歴博講座 (年4回) 参加者数 延べ149人                                                                                      |                                                                                           |          |           |
|                                           | 歴博古文書講座 (2講座 年5回) 参加者数 延べ208人                                                                               |                                                                                           |          |           |
|                                           | 歴博カフェ (年3回) 参加者数 延べ49人                                                                                      |                                                                                           |          |           |
|                                           | 歴博わくわく教室 (年3回) 参加者数 夏：18人 秋：762人 冬：52人                                                                      |                                                                                           |          |           |
| 【その他】                                     |                                                                                                             |                                                                                           |          |           |
| 地域文化デジタル化事業                               |                                                                                                             |                                                                                           |          |           |
| 【参 考】年間入館者数14,540人 (R3：9,561人、R4：14,494人) |                                                                                                             |                                                                                           |          |           |
| 事業の課題及び方向性                                | 【課 題】市民が歴史文化の学習を進めるために、所蔵資料の活用、情報発信、他の自治体との文化交流を図る必要があります。                                                  |                                                                                           |          |           |
|                                           | 【方向性】市民が館の取組を知り、伊那の地を愛する想いを高めてもらうよう、魅力ある特別展や講座を企画していきます。<br>引き続き、国立信州高遠青少年自然の家など、他団体と協力、連携を図りながら事業を行っていきます。 |                                                                                           |          |           |
| 自己評価                                      | B                                                                                                           |                                                                                           |          |           |



第78回特別展「伊那のお寺と仏教文化」の様子



第28回歴博講座の様子

|            |                                                                                                                                                                                                                                |         |                                                                                                          |            |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 事 務 事 業    | No.4 2                                                                                                                                                                                                                         | 信州高遠美術館 | R5 年度決算額                                                                                                 | 35, 132 千円 |
| 事業の目的      | 地域の方々や伊那市を訪れる方々が芸術文化に触れ、親しんでもらう機会を提供するため、美術館を運営します。                                                                                                                                                                            |         |                                                                                                          |            |
| 事業内容       | ○企画展<br>収蔵作品展、観桜期特別展や市内外で活躍する作家作品展、若手作家支援のための作品展<br>○市民ギャラリー展<br>地元で活躍している作家やグループ、高校生、保育園児などの作品展示<br>○アートスクール・楽☆楽講座<br>地元芸術家の指導と協力による、陶芸、絵画、書道などの講座開催<br>○美術大学との連携事業<br>東京藝術大学の学生の感性と伊那市の子どもたちの感性との掛け合いにより生みだされる美を探るワークショップの実施 |         |                                                                                                          |            |
| 達成状況       | 【入館者数】 10,095 人（R3：4,455 人、R4：7,280 人）<br>○令和5年度企画展                                                                                                                                                                            |         |                                                                                                          |            |
|            | テ ー マ                                                                                                                                                                                                                          |         | 内 容                                                                                                      |            |
|            | 片岡鶴太郎展<br>一心の音色 その世界ー<br>（3月4日～5月14日）                                                                                                                                                                                          |         | 絵画にとどまらず、書、焼き物、ガラス制作など、平面から立体への創作にも意欲的に活動されている片岡鶴太郎氏の好奇心、探求心あふれる作品を伊那高遠が最も華やぐ桜咲く季節に合わせて開催しました。           |            |
|            | 若手アーティスト応援展<br>ーINTERACT インタクトー<br>（8月11日～11月1日）                                                                                                                                                                               |         | 若手作家の支援と鑑賞者との交流機会の創出機会の創出を通じた美術振興を図るため、過去6回開催した「若手アーティスト展」出品作家のうち県内で活躍する9人の作家による展覧会を開催しました。              |            |
|            | 「気韻生動」の画人<br>池上秀畝生誕150年展<br>（3月2日～5月19日）                                                                                                                                                                                       |         | 高遠に生まれ中央画壇において、伝統に立脚しながら写実を重んじた山水画、花鳥画に取り組み、被写体が持つエネルギーを描くことを追い求めた「気韻生動」の日本画家池上秀畝の生誕150年を記念した展覧会を開催しました。 |            |
| 事業の課題及び方向性 | ○美術大学との連携事業<br>東京藝術大学の講師・学生による高遠城跡南曲輪をモチーフにした子どもワークショップを開催し、ワークショップの成果を基にアニメーション作品を制作しました。                                                                                                                                     |         |                                                                                                          |            |
|            | 【課 題】市民の文化芸術活動を振興するため、市民が美術館に何を求めるのか、ニーズを把握したうえで展覧会の企画をはじめ各種事業を検討することが必要です。<br>【方向性】ソーシャルネットワーキングサービス等を活用し、市民ニーズの把握に努め、魅力ある企画展示、講座の開催などを通じて、市民が芸術文化に触れ、美術館に親しんでもらえる機会を積極的に提供します。                                               |         |                                                                                                          |            |
| 自己評価       | B                                                                                                                                                                                                                              |         |                                                                                                          |            |



## 【参 考】

令和6年度 教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書  
追加・廃止事業及び前年度自己評価から変更のあった事業にかかる評価理由

### 1 追加事業

該当なし

### 2 廃止事業

該当なし

### 3 前年度自己評価から変更のあった事業

|                                                                                      |         |        |
|--------------------------------------------------------------------------------------|---------|--------|
| No.22                                                                                | 二十歳のつどい | A→B    |
| 令和4年度はコロナ感染症への対策なども考慮した評価であったが、令和5年度は従前どおりの体制、内容で実施することができたため、「期待を上回る」とまでは言えないと判断した。 |         |        |
| R4<br>No.29                                                                          | 公民館建設   | B→項目削除 |
| 令和4年度で西春近公民館建設事業が終了したため、項目を削除した。<br>(以降の事務事業Noを繰り上げています。)                            |         |        |

## 伊那市教育委員会評価委員による意見

### 1 教育委員会評価委員による評価について

#### 「妥当」である。(3名)

- 【意見】
- ・教育に関する多岐にわたる事業を展開されていて、とても手厚いと感じる。
  - ・全体的には、現場の皆様の日々の努力が沢山あり、頑張られていると感じる。
  - ・人権に係り、教育委員会において補えるところがあれば、一層の前進につなげて欲しい。
- 【理由】
- ・各事業の目的が明確に示されており、達成状況を経て「課題」「方向性」が明らかになっている。これらを鑑みて、妥当な評価がされていると判断できる。
  - ・自己評価については妥当であると思う。

### 2 伊那市の教育行政及び事務事業全般について

#### (1) 積極的に取り組むべき事業

- ・「No 6～No 8 きめ細やかな学びの支援（学力向上、特別支援教育、外国籍児童生徒の支援）」には今以上に力を入れてもらいたい。
- ・「No 14、No. 15 不登校対策の推進」では、小中学生だけでなく、高校生にも何らかの支援を検討していただきたい。
- ・「No 5」の情報教育では、スマートフォンやiPadなどの情報通信機器の使用方法、使用範囲の検討を行い、児童生徒の使用に対する公の規制を設けてもらいたい。
- ・「第1節 地域への愛着と誇りを育む教育」は、積極的に取り組んで欲しい。地域や学校が違って、伊那市の子供達に差があっては悲しいので、横の連絡を密にしながら学習等を進めて欲しい。
- ・「1-3 心の教育」は、大きな組織になってもきめ細やかな連絡が取れるようになって欲しい。今まで以上に虐待やいじめなどを見逃さない教育現場での指導が必要と感じる。
- ・「2 生涯にわたる学びの支援」等は、もっと地域の人をうまく巻き込んで。これからも充実して欲しい。

#### (2) 社会情勢や市民ニーズなどに対応していない事業

(特になし)

#### (3) その他

- ・学校の先生は、日々努力され、主任児童委員として頭が下がるくらい遅くまで頑張っておられる。いろいろな家庭が背景にあるだけにご苦労が伺われる。先生方が安心してのびのび働けるように予算配分する中で、人がたくさん増えてゆとりのある学びの場ができると良いと思う。
- ・我が子を通っている頃と比べ、不登校にしても学習支援の先生にしても多くの手が入っており、ありがたいと思う。
- ・社会では人と人の繋がり、コミュニケーションが大事になってくるので、そうした力が身に付くよう、子供達や保護者、先生が集まれる機会の確保にも取り組んでもらえたら、自然と環境も良くなり、不登校も減るかもしれないと感じる。
- ・市民大学など、足が無いけれども行ってみたいと思う人もいると思うので、例えばバスを出してくれるなどの対応ができれば、参加者の増加につながると思う。

### 3 各事務事業について

| 事業名                   | 理由・意見など                                                                                                                          |
|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1-1 学校教育              | 「学力向上」、特に「基礎学力向上」が大きな課題だと思う。小中学校で身に付けるべき最低限の学力（学校側としては、「これだけは身に付けさせたい」学力）を明確にして、身についていない児童生徒をそのままにしないで、理解できるまで寄り添う支援体制が確立できると良い。 |
| 1-2 教育連携              | しっかりできている。                                                                                                                       |
| 1-3 心の教育              | 不登校・虐待・いじめ、どれも重要な課題です。心のケアは教員だけではなかなか難しいので、SCやSSWの力添えがますます必要となっていくと思う。                                                           |
| 1-3 心の教育              | 事業や相談業務等が子どもと親にとって価値ある取り組みを進めており感謝しているが、実際に親や子の身になるともっと相談できる人や場所を必要としている人がいる様に思えるので、今後も充実した相談体制（人と施設）の充実をお願いしたい。                 |
| 2-1 生涯学習<br>2-2 文化・芸術 | 様々な事業が展開されていて素晴らしい。                                                                                                              |
| No20 学童クラブ            | それぞれの学校に併設し、働く家庭を助けていただき、子どもも親も安心して過ごすことができ、とてもありがたいと思う。一方、学童の職員が足りない話をよく聞くので、ぜひ、いろいろな所に呼び掛けて、広く探していただき、安心できる場所としていただきたい。        |

### 4 その他

- ・情報通信機器の規制については、大至急検討を開始し実施すべきと考える。例えば、小学生が使用する情報端末には、学校が許可したアプリケーション以外は動作できない様にするとか、SNSの利用に強力な規制をかけるとか、生成AIの利用制限などが考えられる。
- ・クラブ活動の地域移行について、具体的にどのような形になるのか示して欲しい。
- ・「私立高等学校振興」では、本校(伊那西高等学校)に対する学校運営費補助、ありがたい。急激な少子化が進む中、県立高校再編による影響も懸念され、募集活動に苦戦の色は隠せないが、引き続き地域に愛され必要とされる学校を目指してまいりたい。

令和6年度

伊那市教育委員会評価委員

伊那西高等学校長

原 博文

中部PTA連合会会長

伊藤 剛志郎

伊那市民生児童委員協議会

阿部 美智子